

## 1 大きな数 ①

名前

ねらい

千億の位までの数の読み方、表し方、億の位の数の構成と位取りの仕組みを理解する。

① 次の数を読み、漢字で書きましょう。

① 7352000000

七十三億五千二百万

② 16085030090

百六十億八千五百三万九十

③ 802500047067

八千二十五億四万七千六十七

② 次の数を数字で書きましょう。

① 八百五億<sup>おく</sup>三千万六百

80530000600

② 八千九億三百五十万七十一

800903500071

③ 千億を2こ、百億を6こ、  
十億を5こ、千万を7こ、  
百万を4こ、一万を3こ、  
あわせた数

265074030000

③ 次の（ ）の中にあてはまる文字を、□の中にはあてはまる数字を書きましょう。

① （一億）の10倍の数を十億、十億の10倍の数を（百億）、  
百億の10倍の数を（千億）といいます。

② 930240167085の千億の位の数は□9で、

3は（百億）<sup>くらい</sup>の位の数字です。3つの0は、それぞれ左から順に（十億）の位、（百万）の位、  
（百）の位の数字です。

## 1 大きな数 ②

名前

ねらい 千兆の位までの数の読み方、表し方、兆の位の数の構成と位取りの仕組みを理解する。

① 次の問題に答えましょう。

- ① 位の<sup>くらい</sup>名前を漢字で正しく書きましょう。
- ② 五千三百八十一<sup>ちよう</sup>兆七千四百六<sup>おく</sup>億二百十九万六千十四を数字で書きましょう。
- ③ 七百三十六兆千八百五十万六千五百九を数字で書きましょう。
- ④ 100兆を4こと、10兆を9こと、1兆を5こと、1000億を3こと、10億を6こと、1万を7こあつめた数を数字で書きましょう。
- ⑤ 1000兆を8こと、100兆を2こと、10兆を9こと、1000万を4こと、100万を6こと、100を5こあつめた数を数字で書きましょう。

①	千兆	百兆	十兆	一兆	千億	百億	十億	一億	千万	百万	十万	一万	千	百	十	一
	の位	の位	の位	の位	の位	の位	の位	の位	の位	の位	の位	の位	の位	の位	の位	の位
②	5	3	8	1	7	4	0	6	0	2	1	9	6	0	1	4
③		7	3	6	0	0	0	0	1	8	5	0	6	5	0	9
④		4	9	5	3	0	6	0	0	0	0	7	0	0	0	0
⑤	8	2	9	0	0	0	0	0	4	6	0	0	0	5	0	0

② 次の数の読み方を漢字で書きましょう。

- ① 708650320040100

七百八兆六千五百三億二千四万百

- ② 1006430700005809

千六兆四千三百七億五千八百九

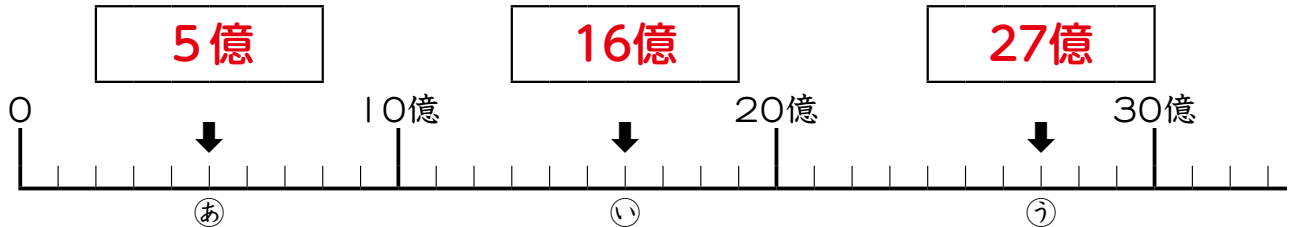
## 1 大きな数 ③

名前

ねらい

数直線をもとに大きな数の構成、相対的な大きさを理解する。何億どうしの加減計算ができる。  
また、「和」「差」の用語を理解する。

1 □にあてはまる数を書きましょう。



①の数について、下の□にあてはまる数を書きましょう。

- ① 10億を  こと、1億を  こあわせた数
- ② 1億を  こあつめた数
- ③ 1000万を  こあつめた数

2 70530000000000について、□にあてはまる数を書きましょう。

- ① 10兆を  こと、1000億を5こ、100億を3こあわせた数です。
- ② 1兆を70こと、1億を  こあわせた数です。
- ③ 1億を  こあわせた数です。

3 ( ) の中の数の和と差を求めましょう。

① (235億、42億)

和

差

② (120兆、370兆)

和

差

## 1 大きな数 ④

名前

ねらい 10倍、100倍、 $1/10$ にした数の大きさと表し方を理解する。① 次の数を10倍した数、100倍した数、 $\frac{1}{10}$ の数を書きましょう。① 560億<sup>おく</sup> 10倍した数

560000000000 または 5600億

100倍した数

5600000000000 または 5兆6000億

 $\frac{1}{10}$ の数

5600000000 または 56億

② 6兆<sup>ちょう</sup> 10倍した数

60000000000000 または 60兆

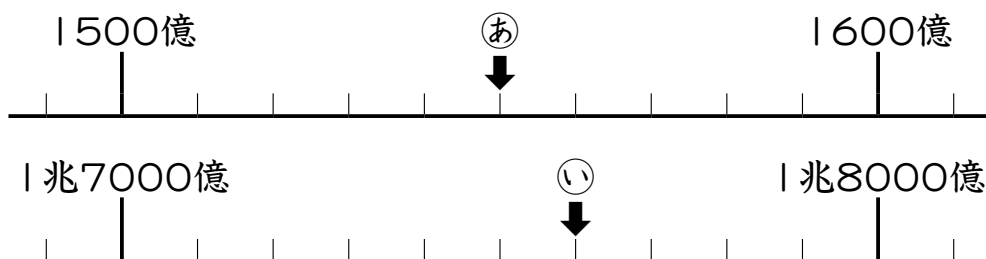
100倍した数

600000000000000 または 600兆

 $\frac{1}{10}$ の数

6000000000000 または 6000億

② 下の数直線の㊱、㊲のめもりが表す数はいくつでしょうか。



㊱ ( 1550億 )      ㊲ ( 1兆7600億 )

③ 0から9までの10まいの数字カードを使って、次の10けたの数を作りましょう。

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

2ばん目に大きい数 ( 9876543201 )

## 1 大きな数 ⑤

名前

ねらい 3位数×3位数の乗法計算ができる。また、「積」の意味を理解する。

Ⅰ 次の計算をしましょう。

①  $273 \times 145$

			2	7	3
		×	1	4	5
		1	3	6	5
	1	0	9	2	
	2	7	3		
	3	9	5	8	5

②  $349 \times 216$

			3	4	9
		×	2	1	6
		2	0	9	4
		3	4	9	
		6	9	8	
	7	5	3	8	4

Ⅱ 2通りの方法の計算のしかたで計算しましょう。

①  $631 \times 707$

			6	3	1
		×	7	0	7
		4	4	1	7
		0	0	0	
4	4	1	7		
4	4	6	1	1	7

			6	3	1
		×	7	0	7
		4	4	1	7
4	4	1	7		
4	4	6	1	1	7

②  $914 \times 305$

			9	1	4
		×	3	0	5
		4	5	7	0
		0	0	0	
2	7	4	2		
2	7	8	7	7	0

			9	1	4
		×	3	0	5
		4	5	7	0
2	7	4	2		
2	7	8	7	7	0

## 1 大きな数 ⑥

名前

ねらい 末位に0がある乗法の計算の仕方を理解する。

① □の中にあてはまる数を書きましょう。

$$\begin{aligned}
 69000 \times 700 &= 69 \times \boxed{1000} \times 7 \times \boxed{100} \\
 &= 69 \times 7 \times \boxed{1000} \times \boxed{100}
 \end{aligned}$$

$$\begin{array}{r}
 69 \mid 000 \\
 \times 7 \mid 00 \\
 \hline
 \boxed{483} \mid \boxed{00000}
 \end{array}$$

② 計算をしましょう。

①  $2700 \times 40$

$$\begin{array}{r}
 27 \mid 00 \\
 \times 4 \mid 0 \\
 \hline
 108 \mid 000
 \end{array}$$

②  $83000 \times 200$

$$\begin{array}{r}
 83 \mid 000 \\
 \times 2 \mid 00 \\
 \hline
 166 \mid 00000
 \end{array}$$

③  $5400 \times 90$

$$\begin{array}{r}
 54 \mid 00 \\
 \times 9 \mid 0 \\
 \hline
 486 \mid 000
 \end{array}$$

④  $3600 \times 430$

$$\begin{array}{r}
 36 \mid 00 \\
 \times 43 \mid 0 \\
 \hline
 108 \mid 000 \\
 144 \mid \\
 \hline
 1548 \mid 000
 \end{array}$$

⑤  $13\overset{\text{おく}}{\text{億}} \times 60$

780億

⑥  $7\overset{\text{ちょう}}{\text{兆}} \times 300$

2100兆

1 大きな数  
(学んだことを使おう) ⑦

名前

**ねらい** 大きな数についての量感をもち、整数のしくみについて理解を深める。

昔々、ある村にたいそうびんぼうな若者がおった。びんぼうだが正直者<sup>しょうじきもの</sup>で、それはそれは頭が良かった。

ある日、地震<sup>じしん</sup>が起きてその村から町へと続く一本道に、大きな岩<sup>いす</sup>が転がってきて、道をふさいでしまった。それを見た若者は、「村人のじゃまになるでねえか。どれ、わしがどうかすべ。」と言って岩をどかすことに成功した。

その知らせを聞いたお殿様<sup>とのさま</sup>は、さっそく城へ若者を呼び、次のように言った。

「ほうびをとらず。あっぱれじゃ。おぬし、何が望み<sup>ほ</sup>じゃ。欲しいものを何でも言ってみよ。」

若者は、しばらく考えていたが、次のように言った。

**「お金を 1 円だけください。明日は 2 円ください。あさっては 4 円、また次の日は 8 円と、前の日の 2 倍のお金をください。」**

それを聞いたお殿様は、「なんじゃ。たったそれだけでいいのか。まったく欲のないやつだ。」とあきれ顔。

**「はい。31 日めまでもらえることができれば、それでたくさんです。」**

- ① 前の日の 2 倍ずつお金がもらえるとすると、  
10 日めにはいくら もらえるでしょうか。

答え 512 円

- ② 11 日めは、いくらもらえるでしょうか。

答え 1024 円

- ③ 30 日めは、下のようなお金になります。  
31 日めは、いくらもらえるでしょうか。

(30 日め) 536870912 円

答え 1073741824 円

## 2 わり算の筆算 ①

名前

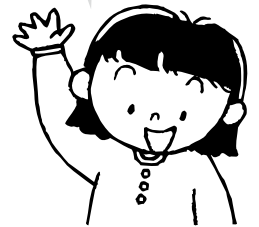
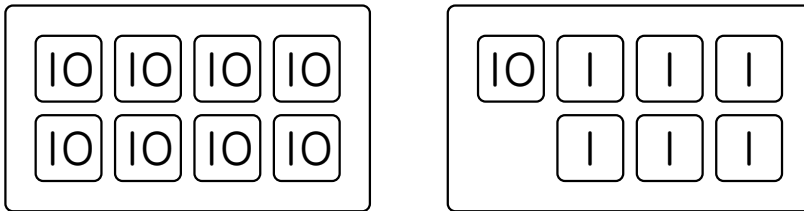
ねらい 2位数÷1位数の除法の計算の仕方を理解する。

I □にあてはまる数を書きましょう。

①  $84 \div 4$  の計算のしかたを考えます。84を **80** と、 **4** に分けて計算する。

$$\begin{array}{l} \text{式 } \boxed{84} \div \boxed{4} = \boxed{21} \\ \quad \quad \quad \boxed{80} \div \boxed{4} = \boxed{20} \\ \quad \quad \quad \boxed{4} \div \boxed{4} = \boxed{1} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 84 \div 4 \\ \hline \end{array}$$

②  $96 \div 4$  の計算のしかたを考えます。

$$\begin{array}{l} 96 \div 4 = \boxed{24} \\ \quad \quad \quad \boxed{80} \div 4 = \boxed{20} \\ \quad \quad \quad \boxed{16} \div 4 = \boxed{4} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 96 \div 4 \\ \hline 80 \quad 16 \end{array}$$

③  $75 \div 3$  の計算のしかたを考えます。

$$\begin{array}{l} 75 \div 3 = \boxed{25} \\ \quad \quad \quad \boxed{60} \div 3 = \boxed{20} \\ \quad \quad \quad \boxed{15} \div 3 = \boxed{5} \end{array}$$



## 2 わり算の筆算 ②

名前

ねらい 2位数÷1位数の除法の筆算の仕方を理解する。

① 計算をしましょう。□の中にあてはまる数を書きましょう。

$$\begin{array}{r} \textcircled{1} \quad \begin{array}{r} 2 \boxed{4} \\ 4 \overline{) 96} \\ \underline{8} \phantom{0} \\ 16 \\ \underline{16} \\ 0 \end{array} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \textcircled{2} \quad \begin{array}{r} \boxed{1} \boxed{3} \\ 6 \overline{) 78} \\ \underline{6} \phantom{0} \\ 18 \\ \underline{18} \\ 0 \end{array} \end{array}$$

② 計算をしましょう。

$$\textcircled{1} \quad \begin{array}{r} 25 \\ 3 \overline{) 75} \\ \underline{6} \phantom{0} \\ 15 \\ \underline{15} \\ 0 \end{array}$$

$$\textcircled{2} \quad \begin{array}{r} 17 \\ 4 \overline{) 68} \\ \underline{4} \phantom{0} \\ 28 \\ \underline{28} \\ 0 \end{array}$$

$$\textcircled{3} \quad \begin{array}{r} 38 \\ 2 \overline{) 76} \\ \underline{6} \phantom{0} \\ 16 \\ \underline{16} \\ 0 \end{array}$$

$$\textcircled{4} \quad \begin{array}{r} 13 \\ 7 \overline{) 91} \\ \underline{7} \phantom{0} \\ 21 \\ \underline{21} \\ 0 \end{array}$$

$$\textcircled{5} \quad \begin{array}{r} 17 \\ 5 \overline{) 85} \\ \underline{5} \phantom{0} \\ 35 \\ \underline{35} \\ 0 \end{array}$$

$$\textcircled{6} \quad \begin{array}{r} 12 \\ 8 \overline{) 96} \\ \underline{8} \phantom{0} \\ 16 \\ \underline{16} \\ 0 \end{array}$$

$$\textcircled{7} \quad \begin{array}{r} 14 \\ 6 \overline{) 84} \\ \underline{6} \phantom{0} \\ 24 \\ \underline{24} \\ 0 \end{array}$$

$$\textcircled{8} \quad \begin{array}{r} 24 \\ 3 \overline{) 72} \\ \underline{6} \phantom{0} \\ 12 \\ \underline{12} \\ 0 \end{array}$$

## 2 わり算の筆算 ③

名前

ねらい

2位数÷1位数で余りのある除法計算ができ、被除数＝除数×商＋余りの関係を理解して、答えの確かめに使することができる。「商」の意味を知る。

- ① 76まいの画用紙を3まいずつクリップでとめます。3まいずつクリップでとめられた画用紙のたばはいくつできて、何まいあまるでしょうか。

① 式を書きましょう。  $(76 \div 3)$

- ② 筆算をしましょう。また、答えのたしかめもしましょう。

□にあてはまる数を書きましょう。

〈筆算〉

$$\begin{array}{r} 25 \\ 3 \overline{) 76} \\ \underline{6} \phantom{0} \\ 16 \\ \underline{15} \\ 1 \end{array}$$

〈答えのたしかめ〉

$$3 \times 25 + 1 = 76$$

- ③ わり算の答えは、次の式でたしかめられます。

( ) にあてはまる言葉を書きましょう。

$$\text{わる数} \times (\text{商}) + (\text{あまり}) = \text{わられる数}$$

- ② 次の計算を筆算でして、答えのたしかめもしましょう。

①  $97 \div 2$

$$\begin{array}{r} 48 \\ 2 \overline{) 97} \\ \underline{8} \phantom{0} \\ 17 \\ \underline{16} \\ 1 \end{array}$$

$$2 \times 48 + 1 = 97$$

②  $86 \div 7$

$$\begin{array}{r} 12 \\ 7 \overline{) 86} \\ \underline{7} \phantom{0} \\ 16 \\ \underline{14} \\ 2 \end{array}$$

$$7 \times 12 + 2 = 86$$

③  $83 \div 3$

$$\begin{array}{r} 27 \\ 3 \overline{) 83} \\ \underline{6} \phantom{0} \\ 23 \\ \underline{21} \\ 2 \end{array}$$

$$3 \times 27 + 2 = 83$$

## 2 わり算の筆算 ④

名前

ねらい

2位数÷1位数で十の位が整除される場合や、十の位に商が立たない場合、商の一位が0になる場合の除法の計算ができる。

1 計算をしましょう。

①  $48 \div 2$

	2	4	
4	4	8	
	4		
		8	
		8	
		0	

②  $37 \div 4$

		9	
4	3	7	
	3	6	
		1	

③  $53 \div 6$

		8	
6	5	3	
	4	8	
		5	

④  $43 \div 4$

	1	0	
4	4	3	
	4		
		3	

⑤  $62 \div 3$

	2	0	
3	6	2	
	6		
		2	

⑥  $90 \div 9$

	1	0	
9	9	0	
	9		
		0	

2 次のわり算の中で、商が一の位<sup>くらい</sup>からたつものをえらんで記号で書きましょう。

①  $53 \div 3$

②  $74 \div 5$

③  $37 \div 8$

答え ( ③ )

## 2 わり算の筆算 ⑤

名前

**ねらい** 3位数÷1位数=3位数の除法の計算ができる。

Ⅰ 筆算でしましょう。

①  $735 \div 5$

	1	4	7
5	7	3	5
	5		
	2	3	
	2	0	
		3	5
		3	5
			0

②  $368 \div 3$

	1	2	2
3	3	6	8
	3		
		6	
		6	
			8
			6
			2

③  $967 \div 4$

	2	4	1
4	9	6	7
	8		
	1	6	
	1	6	
			7
			4
			3

④  $536 \div 2$

	2	6	8
2	5	3	6
	4		
	1	3	
	1	2	
		1	6
		1	6
			0

⑤  $789 \div 6$

	1	3	1
6	7	8	9
	6		
	1	8	
	1	8	
			9
			6
			3

⑥  $853 \div 3$

	2	8	4
3	8	5	3
	6		
	2	5	
	2	4	
		1	3
		1	2
			1

2わり算の筆算 ⑥

名前

ねらい 3位数÷1位数で商の一の位や十の位に0が立つ除法の計算ができる。

① 次の計算のしかたを説明しています。□に数を書きましょう。

①

		3	0
7	)	9	16
		7	
<hr/>			
		2	1
		2	1
<hr/>			
			6

<説明>

一の位の商は6÷7でわれないので  
0になります。

②

		0	7
6	)	6	43
		6	
<hr/>			
		4	3
		4	2
<hr/>			
			1

<説明>

十の位の商は4÷6でわれないので  
0になります。

② 計算をしましょう。

① 541÷3

	1	8	0
3	)	5	41
	3		
<hr/>			
	2	4	
	2	4	
<hr/>			
			1

② 965÷8

	1	2	0
8	)	9	65
	8		
<hr/>			
	1	6	
	1	6	
<hr/>			
			5

③ 326÷3

	1	0	8
3	)	3	26
	3		
<hr/>			
		2	6
		2	4
<hr/>			
			2

## 2 わり算の筆算 ⑦

名前

ねらい 3 位数 ÷ 1 位数 = 2 位数の除法の計算ができる。

- ① 257 ÷ 3 の筆算のしかたを説明します。  
 □の中にあてはまる数を書きましょう。

$$\begin{array}{r}
 \boxed{8} \boxed{5} \\
 3 \overline{) 257} \\
 \underline{24} \phantom{0} \\
 17 \\
 \underline{15} \\
 2
 \end{array}$$

- ① 2 ÷ 3 で、百の位には商はたたない。  
 ② 25 ÷ 3 =  $\boxed{8}$  あまり 1  
 $\boxed{8}$  を十の位にたてる。  
 ③ 17 ÷ 3 =  $\boxed{5}$  あまり 2  
 $\boxed{5}$  を一の位にたてる。  
 ④ あまりは  $\boxed{2}$  になる。

- ② 計算をしましょう。

① 518 ÷ 7

$$\begin{array}{r}
 \phantom{0} \phantom{0} \boxed{7} \boxed{4} \\
 \boxed{7} \overline{) 518} \\
 \underline{49} \phantom{0} \\
 \phantom{0} \phantom{0} \boxed{2} \boxed{8} \\
 \phantom{0} \phantom{0} \boxed{2} \boxed{8} \\
 \phantom{0} \phantom{0} \phantom{0} \boxed{0}
 \end{array}$$

② 509 ÷ 9

$$\begin{array}{r}
 \phantom{0} \phantom{0} \boxed{5} \boxed{6} \\
 \boxed{9} \overline{) 509} \\
 \underline{45} \phantom{0} \\
 \phantom{0} \phantom{0} \boxed{5} \boxed{9} \\
 \phantom{0} \phantom{0} \boxed{5} \boxed{4} \\
 \phantom{0} \phantom{0} \phantom{0} \boxed{5}
 \end{array}$$

③ 289 ÷ 4

$$\begin{array}{r}
 \phantom{0} \phantom{0} \boxed{7} \boxed{2} \\
 \boxed{4} \overline{) 289} \\
 \underline{28} \phantom{0} \\
 \phantom{0} \phantom{0} \phantom{0} \boxed{9} \\
 \phantom{0} \phantom{0} \phantom{0} \boxed{8} \\
 \phantom{0} \phantom{0} \phantom{0} \phantom{0} \boxed{1}
 \end{array}$$

## 2 わり算の筆算 ⑧

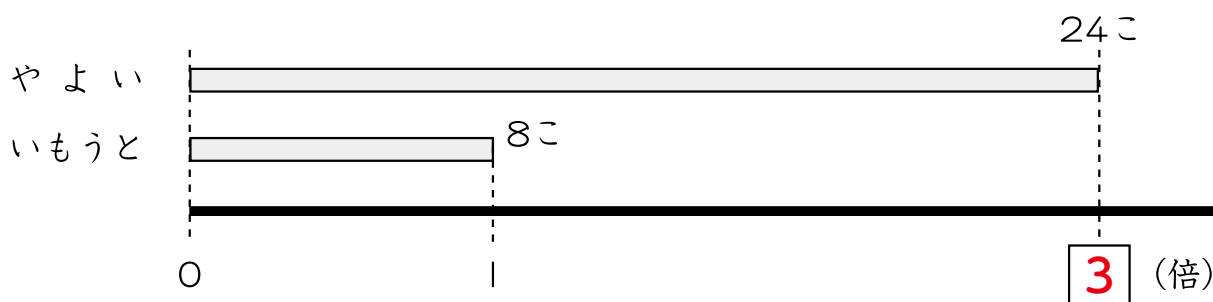
名前

ねらい 倍の意味と求め方について理解を深める。(第一用法)

I 次の問題に答えましょう。

- ① やよいさんは、いもうとといっしょに、あきカンひろいをしました。  
やよいさんは24こあつめ、いもうとは8こあつめました。やよいさんは、  
いもうとの何倍ひろいましたか。

図の□に数を書きましょう。また、式と答えも書きましょう。

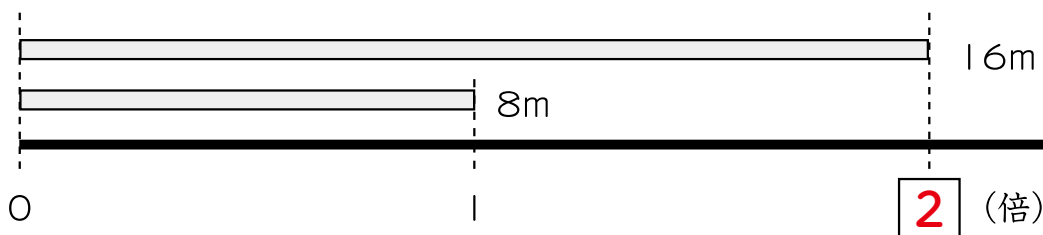
8この□倍が24こだから、 $8 \times \square = 24$ 

〈式〉  $24 \div 8 = 3$

答え ( 3倍 )

- ② 16mのロープは8mのロープの長さの何倍でしょうか。

(1) 図の□に数を書きましょう。



(2) 16mが8mの何倍にあたるかをわり算で求めましょう。

〈式〉  $16 \div 8 = 2$

答え ( 2倍 )

- ③ ㊸の鉄の棒の重さは18kgです。㊹の鉄の棒の重さは6kgです。  
㊸の鉄の棒の重さは、㊹の鉄の棒の重さの何倍でしょうか。

〈式〉  $18 \div 6 = 3$

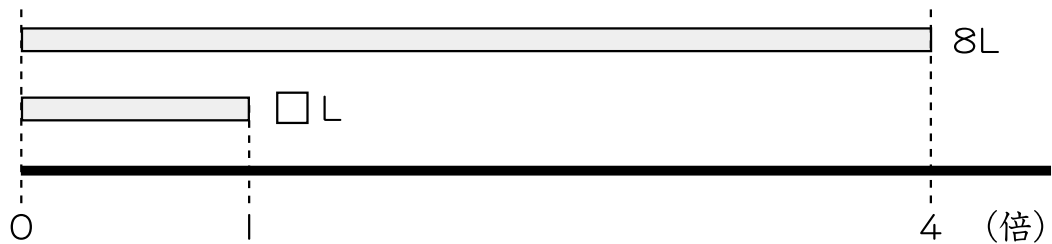
答え ( 3倍 )

## 2 わり算の筆算 ⑨

名前

**ねらい** 比較量と倍がわかっているときの、基準量の求め方を理解する。(第三用法)

- ① 水がバケツに8L入っています。この量はペットボトルに入っている量の4倍です。ペットボトルには何L入っているでしょうか。



ペットボトルの量を□Lとして、かけ算の式に表して、答えを求めましょう。

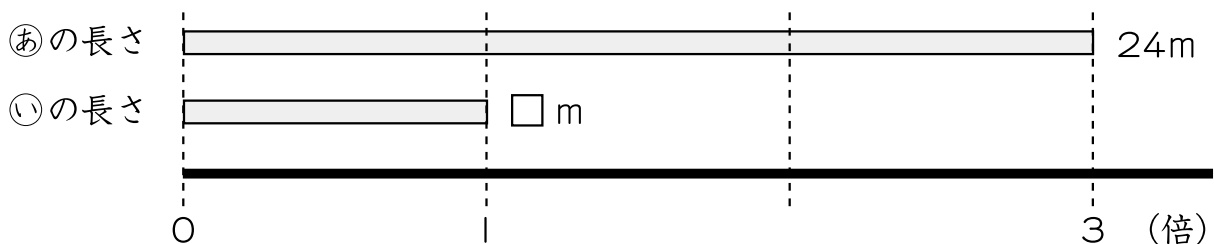
〈式〉  $\square \times 4 = 8$

$$\square = 8 \div 4$$

$$= 2$$

答え ( 2L )

- ② ㊸のロープの長さは24mです。この長さは㊹のロープの長さの3倍です。㊹のロープの長さは何mでしょうか。



㊹のロープの長さを□mとして、かけ算の式に表して、答えを求めましょう。

〈式〉  $\square \times 3 = 24$

$$\square = 24 \div 3$$

$$= 8$$

答え ( 8m )



## 2 わり算の筆算 ⑩

名前

ねらい 除法の暗算ができる。

Ⅰ 暗算でしましょう。

①  $84 \div 2$     上の位から計算

$80 \div 2 = 40$   
 $4 \div 2 = 2$   
 あわせて  $42$

②  $78 \div 3$     上の位から計算

$60 \div 3 = 20$   
 $18 \div 3 = 6$   
 あわせて  $26$

③  $39 \div 3 = 13$     ④  $99 \div 9 = 11$     ⑤  $48 \div 4 = 12$

⑥  $52 \div 4 = 13$     ⑦  $81 \div 3 = 27$     ⑧  $65 \div 5 = 13$

⑨  $84 \div 6 = 14$     ⑩  $57 \div 3 = 19$     ⑪  $96 \div 6 = 16$

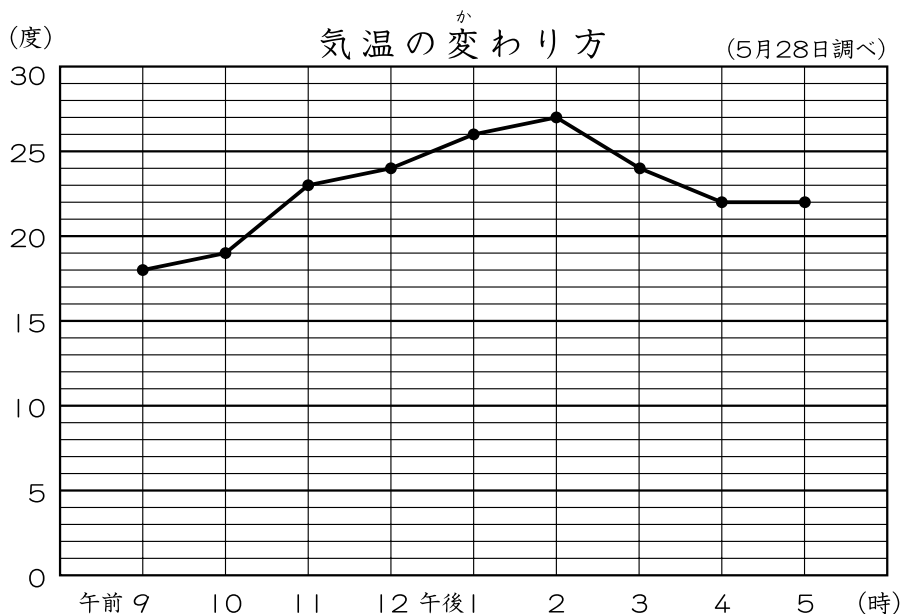
## 3 折れ線グラフ ①

名前

ねらい

変化の様子を表すグラフとして折れ線グラフの読み方を理解する。

I 下のグラフを見て、答えましょう。



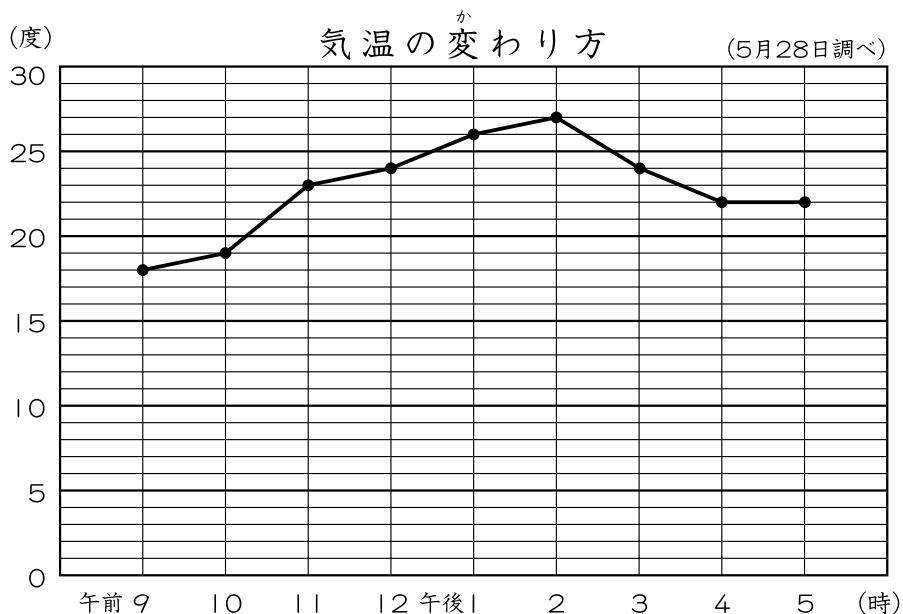
- ① 上のようなグラフのことを何というでしょうか。 ( 折れ線グラフ )
- ② 何を表したグラフでしょうか。 ( 気温の変わり方 )
- ③ 横じくは、何を表しているのでしょうか。 ( 時こく )
- ④ たてじくは、何を表しているのでしょうか。 ( 気温 )
- ⑤ 午前9時の気温は、何度でしょうか。 ( 18度 )
- ⑥ 午後4時の気温は、何度でしょうか。 ( 22度 )
- ⑦ 気温が23度になったのは、何時でしょうか。 ( 午前11時 )
- ⑧ 気温が1番高かったのは、何時でしょうか。また、それは何度でしょうか。  
( 午後2時 ) ( 27度 )

## 3 折れ線グラフ ②

名前

ねらい 折れ線グラフの傾きと変化の大きさについて調べ、理解する。

1 下のグラフを見て、答えましょう。



① 気温が上がっているのは、何時から何時まででしょうか。

( 午前 9 時から午後 2 時 )

② 気温が下がりはじめたのは、何時からでしょうか。

( 午後 2 時 )

③ 1時間の気温の上がり方が一番大きかったのは、何時から何時でしょうか。

( 午前 10 時から午前 11 時 )

2 下の①から③の中から、

お 折れ線グラフで表すとよいものをすべて記号でえら 選びましょう。

① 毎年、5月1日にはかった自分の体重

② A市の1月から12月までの降水量

③ 1週間ごとに調べたへちまの長さ

( ①、③ )

## 3 折れ線グラフ ③

名前

ねらい 折れ線グラフのかき方を理解する。

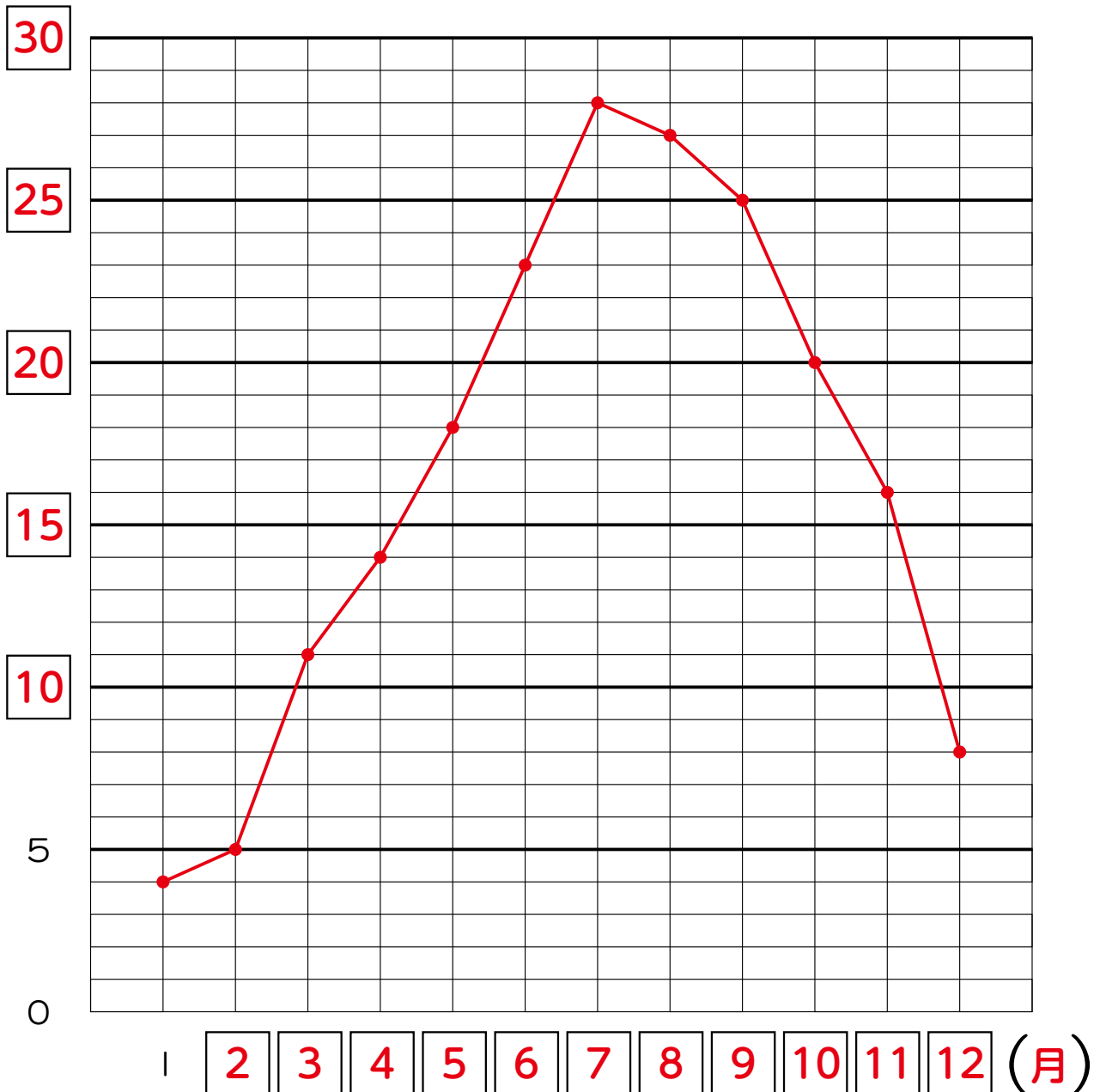
I 下の表は、ある市の1年間の気温を調べたものです。

〈1年間の気温の<sup>か</sup>変わり方〉

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
気温(度)	4	5	11	14	18	23	28	27	25	20	16	8

上の表を折れ線グラフに表しましょう。

(度) ( 1年間の気温の変わり方 )



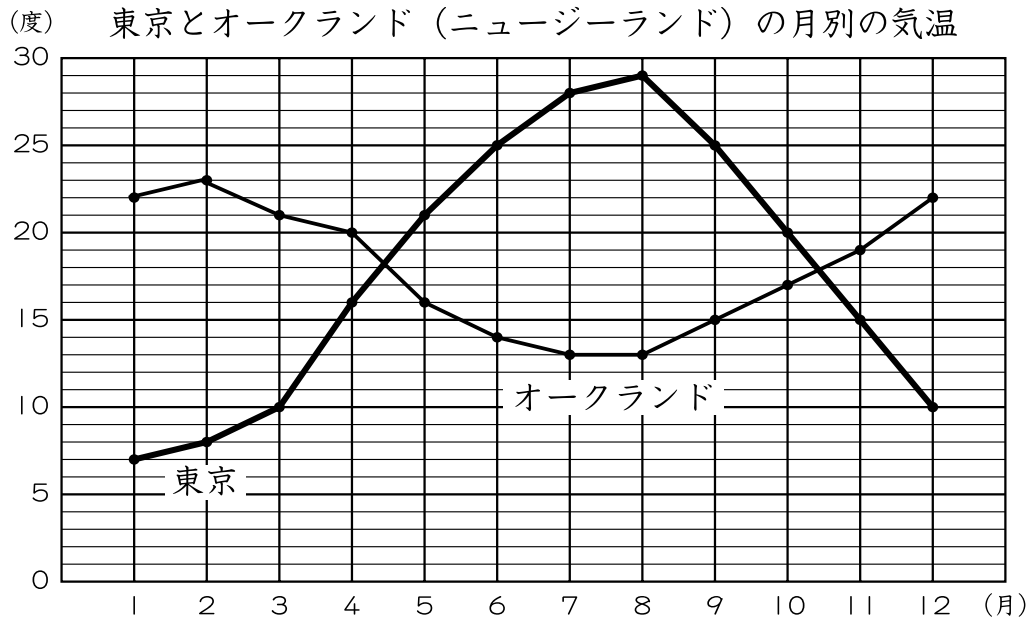
## 3 折れ線グラフ ④

名前

ねらい

2つの折れ線グラフを同じグラフ用紙に表して、変化の様子を比較することができる。

I 下のグラフを見て、答えましょう。



- ① 横じくは、何を表していますか。 ( 月 )
- ② たてじくの1めもりは、何度を表していますか。 ( 1度 )
- ③ 東京でいちばん高い気温は何月で、それは何度ですか。  
( 8月 ) ( 29度 )
- ④ オークランドでいちばん高い気温は何月で、それは何度ですか。  
( 2月 ) ( 23度 )
- ⑤ 東京とオークランドで気温の差がいちばん大きいのは何月で、何度ですか。  
( 8月 ) ( 16度 )
- ⑥ 東京とオークランドでは、いちばん高い気温は何度ちがうでしょうか。  
また、いちばん低い気温は何度ちがうでしょうか。

いちばん高い気温のちがい ( 6度 )

いちばん低い気温のちがい ( 6度 )

## 3 折れ線グラフ ⑤

名前

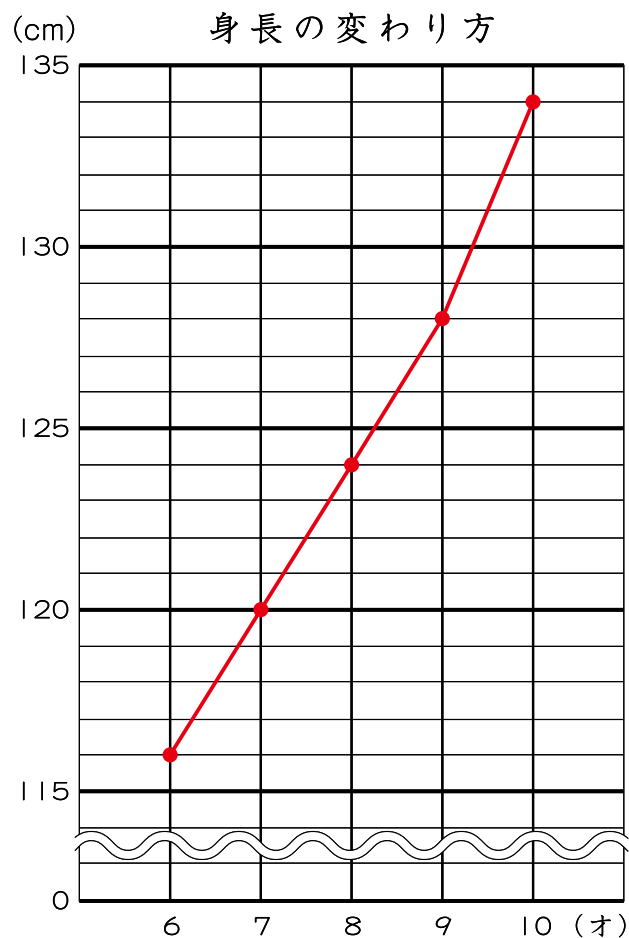
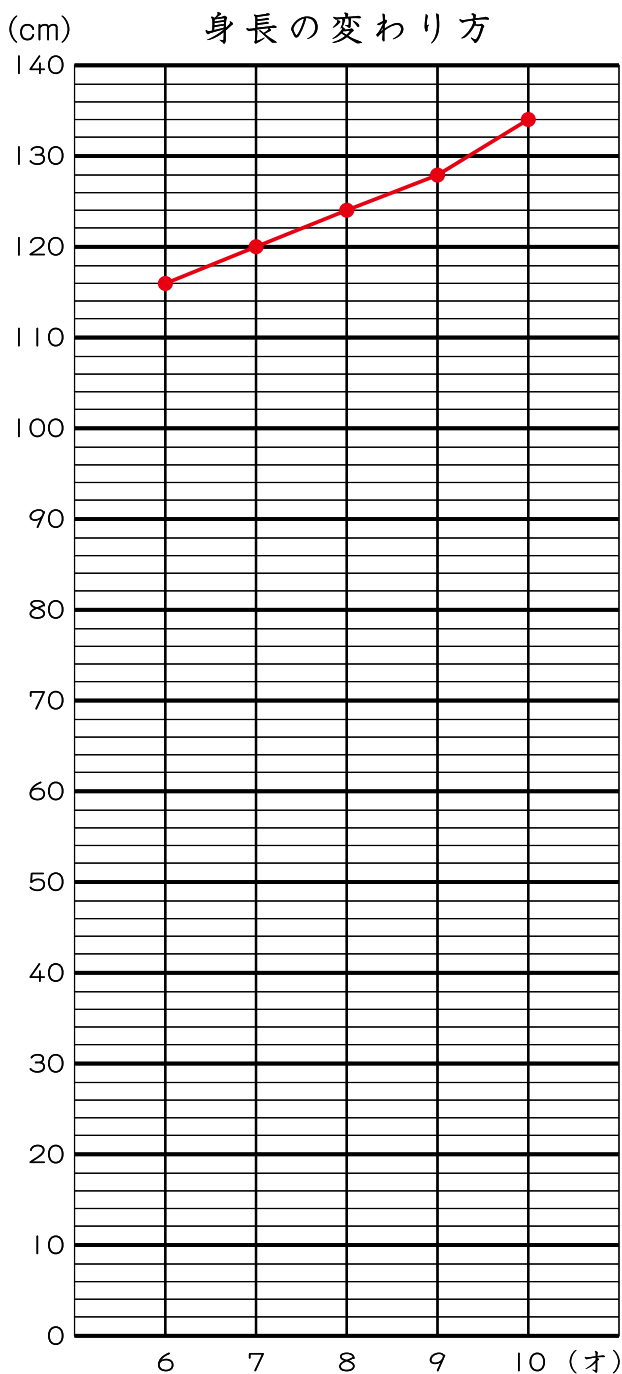
ねらい 折れ線グラフの途中の目盛を波線で省略する場合を理解する。

① あきこさんの身長の変わり方を調べました。

〈身長の変わり方〉

年れい (才)	6	7	8	9	10
身長 (cm)	116	120	124	128	134

① 上の表をそれぞれ折れ線グラフに表しましょう。



② 上の右がわの折れ線グラフのように、  
 ～～を使って、とちゅうのめもりを  
 はぶくと、どのようなことが  
 見やすくなりますか。

( 変化のようすがよくわかる )

## 3 折れ線グラフ ⑥

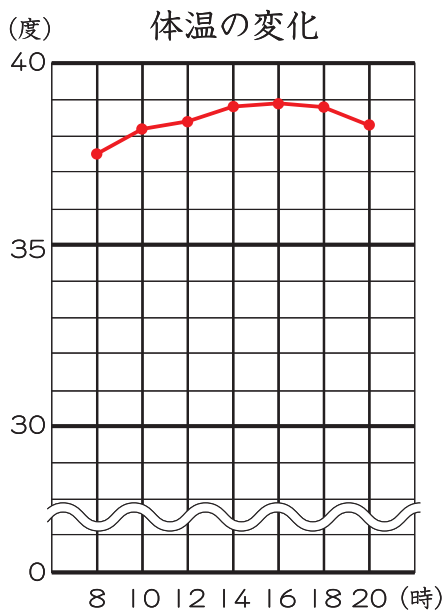
名前

ねらい 適切な目盛りのつけ方や省略の仕方を考え、折れ線グラフについて理解を深める。

① かぜをひいたときの<sup>たいおん</sup>体温の<sup>へんか</sup>変化を<sup>きろく</sup>記録しました。

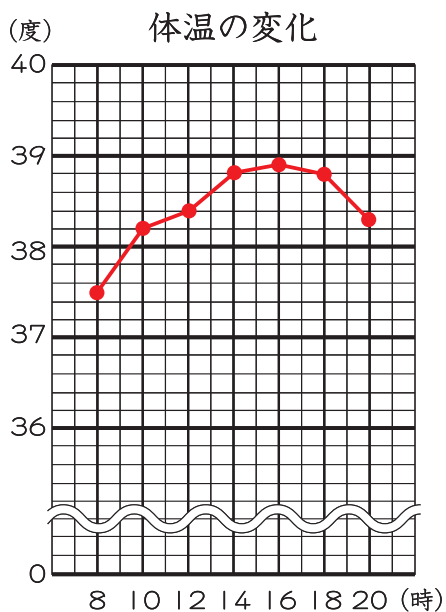
8時	37.5度
10時	38.2度
12時	38.4度
14時	38.8度
16時	38.9度
18時	38.8度
20時	38.3度

① 体温の変化をグラフに表しましょう。

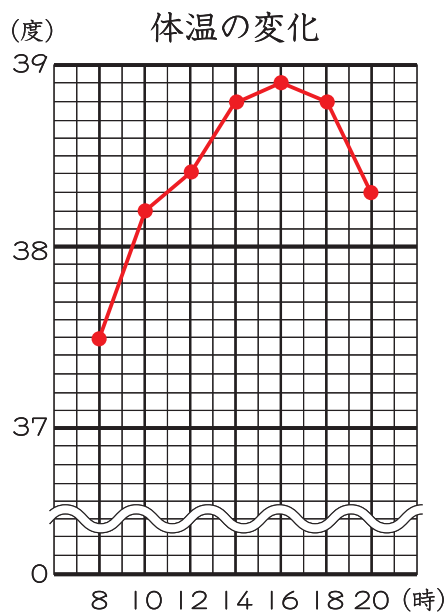


② 体温の変化を下の㊦と㊧のグラフに表しましょう。

㊦



㊧

③ ㊦と㊧のどちらのグラフ用紙を使って  
折れ線グラフに表すとよいでしょうか。

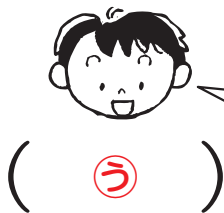
( ㊧ )

## 3 折れ線グラフ ⑦

名前

ねらい 折れ線グラフから読み取れる変化の様子を、日常の事象と関連付けて捉えることができる。

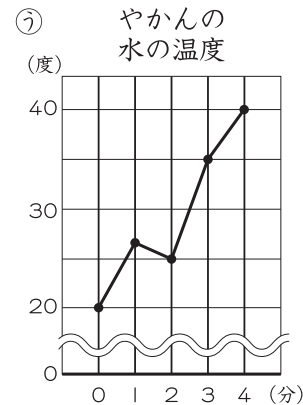
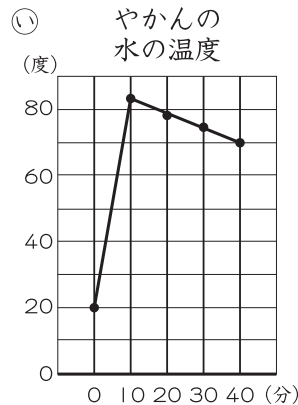
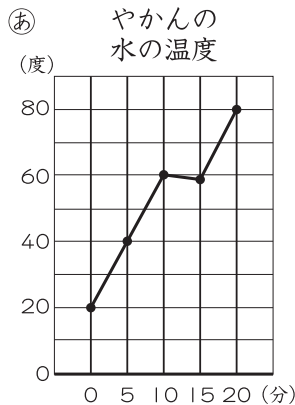
- ① 下の㉠から㉣の中から、話に合う折れ線グラフを選んで、記号を ( ) に書きましょう。



1分あたためて、火をとめて、さらにあたためたよ。



10分あたためて、火をとめて、5分後にあたためたよ。



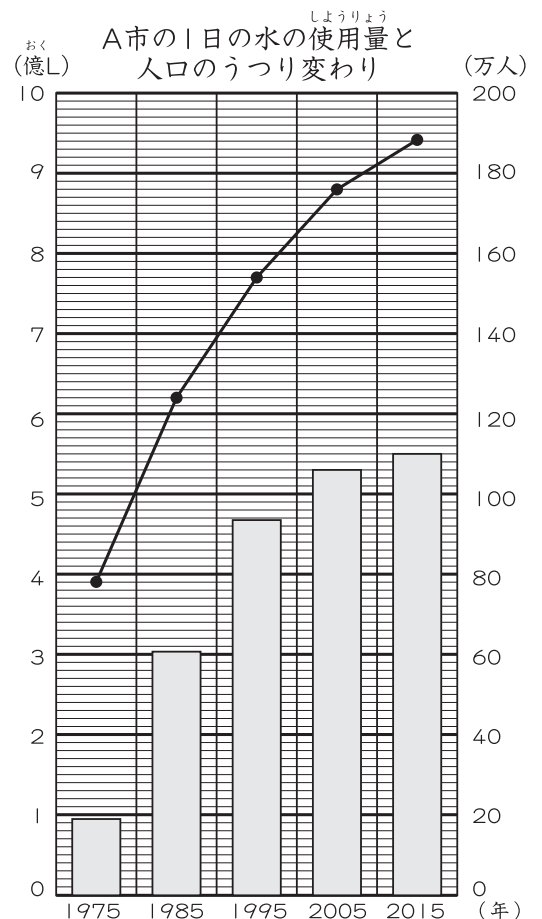
- ② 右のグラフを見て、読み取ることができるものはどれでしょうか。

㉠～㉣の記号で書きましょう。

(●—水の使用量 □人口)

- ㉠ 人口がふえると、水の使用量もふえる。  
 ㉡ 水の使用量は40年間で、毎年同じ量ずつふえている。  
 ㉢ 1975年から40年間で、水の使用量は6倍以上になっている。  
 ㉣ 1975年から40年間で、人口は2倍以上になっている。

答え ( ㉠、㉣ )

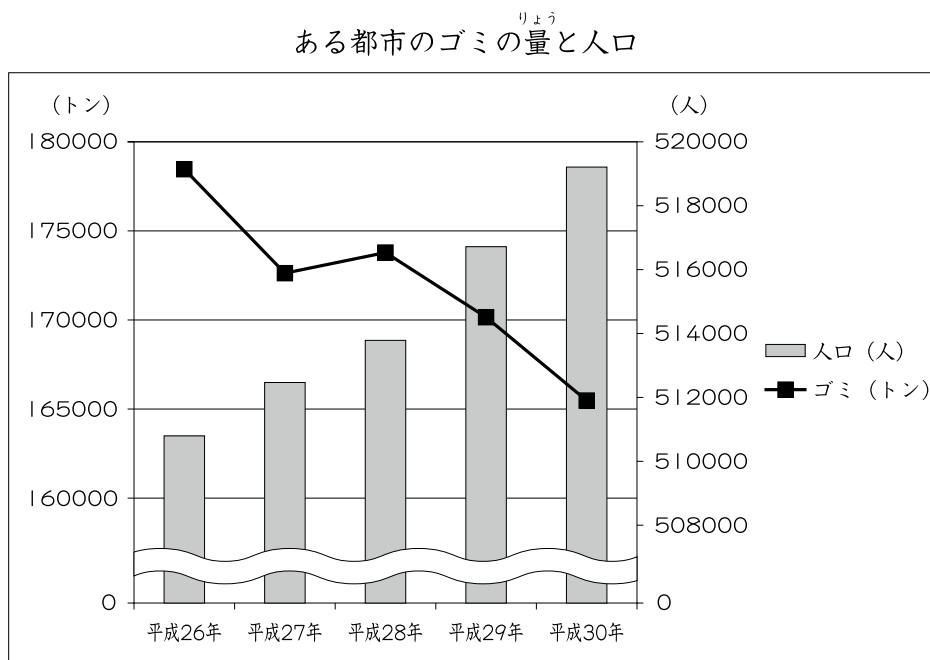




折れ線グラフ  
(学んだことを使おう) ⑧名  
前

**ねらい** 棒グラフと折れ線グラフを同じグラフ用紙に表し、それらを関連付けて考察することができる。

① 下のグラフは、ある都市のゴミの量と人口について表したものです。



次の文章で正しいものには○、まちがっているものには×をつけましょう。

- ① (○) 平成29年のある都市のゴミの量は、およそ170000トンである。
- ② (×) 平成30年のある都市の人口は、およそ510000人である。
- ③ (○) 平成27年から平成28年にかけて、ある都市のゴミの量は増えた。
- ④ (×) ある都市では人口が増えているので、ゴミの量も増えている。
- ⑤ (×) 平成26年から平成30年にかけて、ゴミの量は半分になった。

② 折れ線グラフに表した方がよいと思うものには○、そうでないものには×をつけましょう。

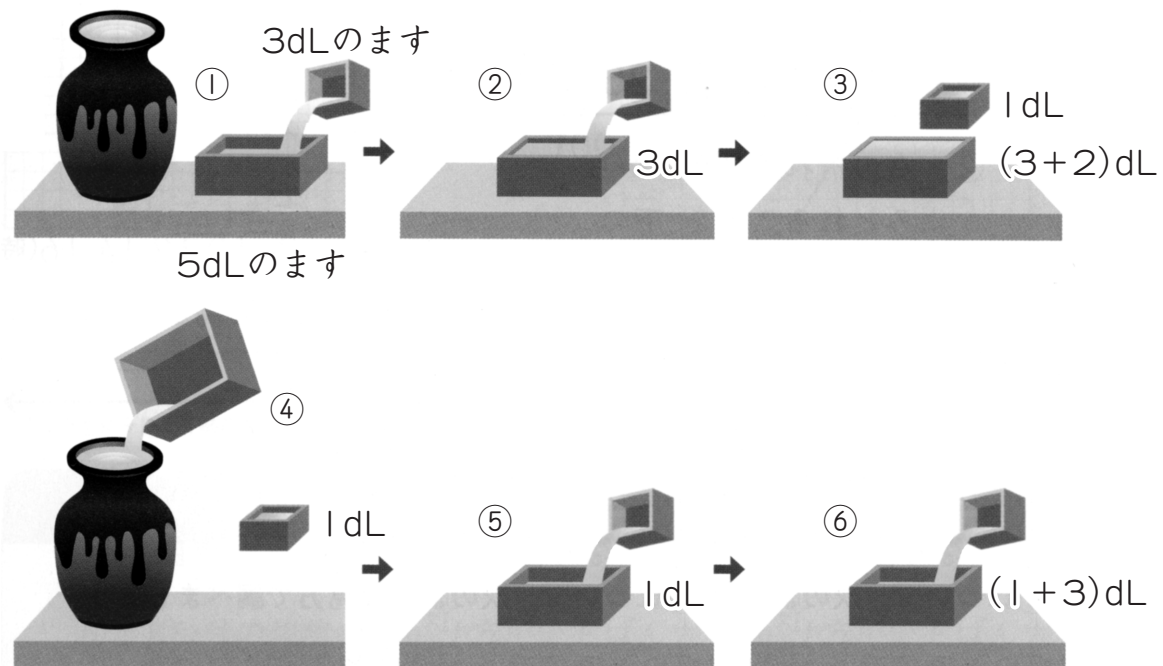
- ① (×) 同じ日にはかった、班の人の身長。
- ② (○) 毎年4月にはかった、自分の体重。
- ③ (×) 同じ時こくに調べた、いろいろな場所の気温。
- ④ (○) 7月1日に1時間ごとにはかった、同じ場所の気温。
- ⑤ (×) ある小学校で4月に調べた、学年別の子ども数。

## ★ 算数ワールド 油わけ

名前

ねらい 筋道を立てて考える力を伸ばす。

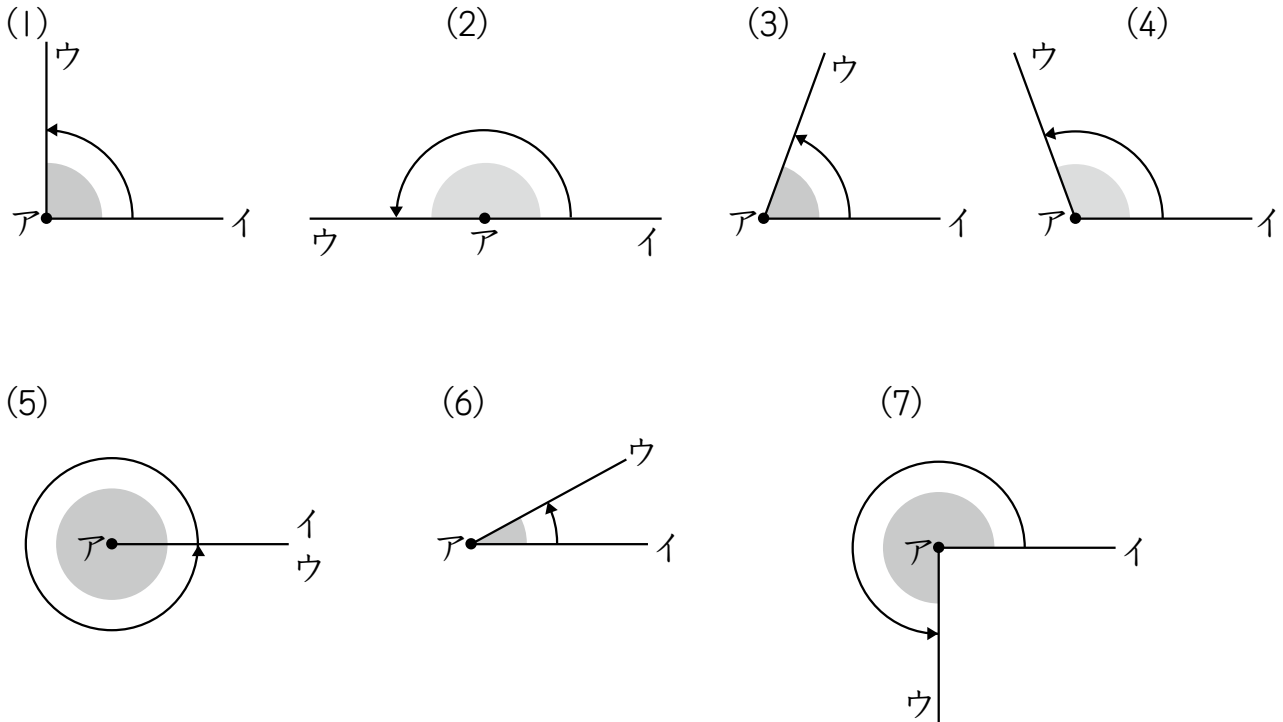
- ① 油がたくさん入ったつぼがあります。5 dLのますと3 dLのますを使って、油4 dLをはかるには、どうすればよいでしょうか。  
 ( ) の中にあてはまる言葉を書きましょう。



- ① つぼから、小さなます(3 dL)で油を2回すくって、  
 ② 大きなます(5 dL)をいっぱいにする。  
 ③ 小さなます(3 dL)に1 dLあまる。  
 ④ 大きなます(5 dL)に入れた油をつぼにもどす。  
 このあと⑤と⑥の図を見て、4 dLにします。  
 ⑤ 小さなますの1 dLを( **大きなますに移す。** )  
 ⑥ 小さなますで( **油をすくって、大きなますに入れる。** )

**ねらい** 回転した量としての角の大きさの意味を理解する。

Ⅰ 下の(1)～(7)の角の大きさがあります。



① 角の大きさの小さい順に記号で書きましょう。

( (6) → (3) → (1) → (4) → (2) → (7) → (5) )

② 直角より小さい角をすべて記号で書きましょう。

( (3)、(6) )

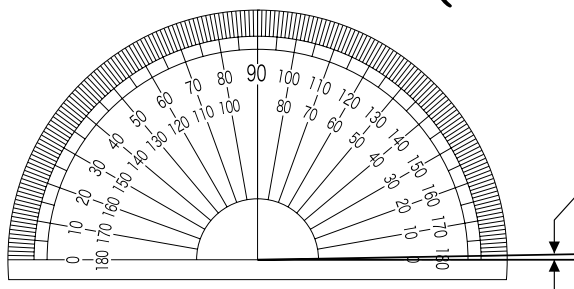
③ 直角の2つ分の角の大きさはどれですか。記号で書きましょう。

( (2) )

**ねらい** 分度器の機能と使い方、角の大きさの単位「度（°）」を理解する。

Ⅰ 次の□にあてはまる数や単位を、（ ）にはあてはまる言葉や記号を書きましょう。

① 角の大きさのことを（ **角度** ）ともいいます。



② 直角を90に等分した1こぶんを **1度** といい、 **1°** と書きます。

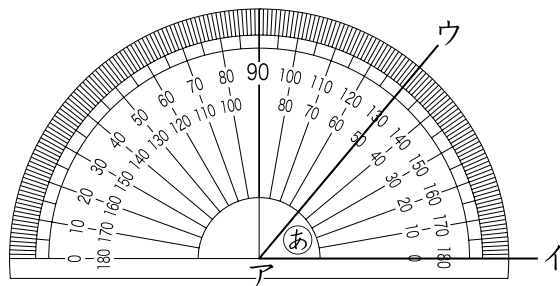
Ⅱ 角②の角度のはかり方

① 分度器の中心を頂点（ **ア** ）にあわせる。

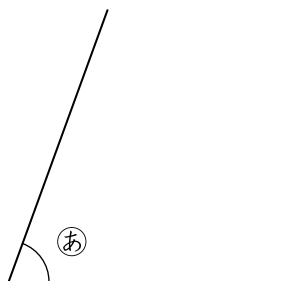
② 分度器の0°の線を辺（ **アイ** ）に重ねる。

③ 辺（ **アウ** ）と重なっている目もりをよむ。

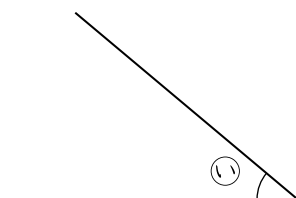
②の角の大きさは **50°** です。



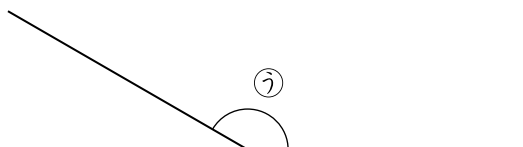
Ⅲ 下の角の大きさをはかりましょう。



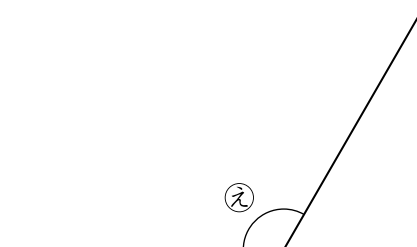
② **70°**



③ **40°**



④ **150°**



⑤ **120°**

ねらい

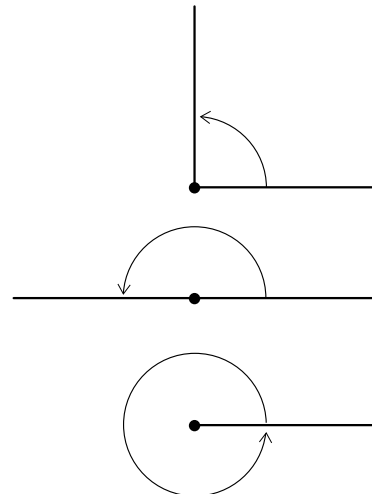
直角を単位とした角の大きさの表し方を理解する。三角定規の角を調べ、角の大きさの加法性について理解する。

- ① 回転と角度の関係を調べましょう。  
□にあてはまる角度を書きましょう。

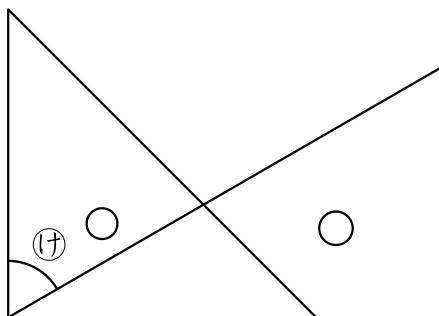
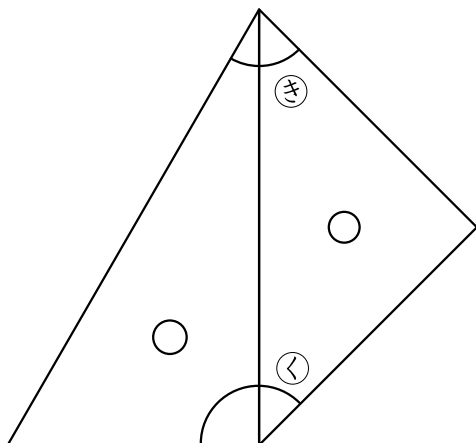
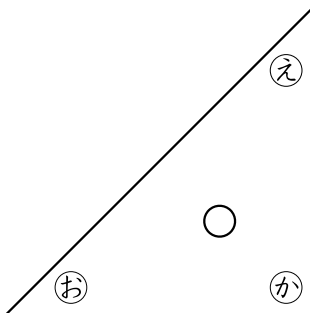
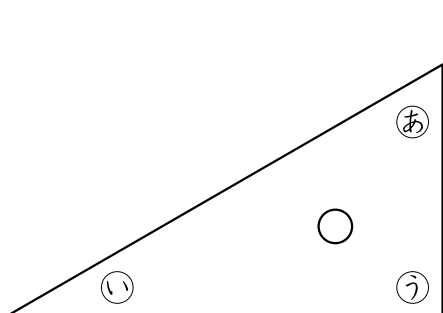
① 1 直角は  $90^\circ$

② 半回転の角度…… 2 直角 =  $180^\circ$

③ 1 回転の角度…… 4 直角 =  $360^\circ$



- ② 三角定規<sup>じょうぎ</sup>の角の大きさは、それぞれ何度でしょうか。



あ

 $60^\circ$ 

い

 $30^\circ$ 

う

 $90^\circ$ 

え

 $45^\circ$ 

お

 $45^\circ$ 

か

 $90^\circ$ 

き

 $75^\circ$ 

く

 $135^\circ$ 

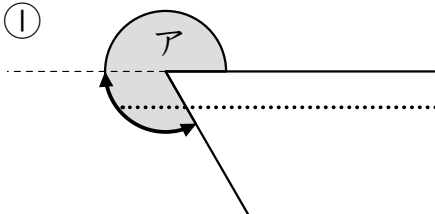
け

 $60^\circ$

ねらい 180°より大きい角度の測定の仕方を考えることができる。

- ① □にあてはまる角度や数を書いて、180°より大きい角の大きさのはかり方を説明し、角度をはかりましょう。

①



①

180°と、あと何度あるかを調べる。

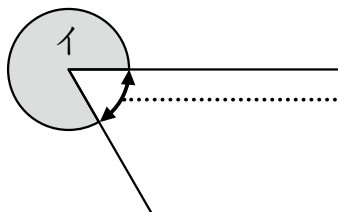
矢印の部分の角度は 120°

アの角度を計算して求める。

〈式〉  $180 + 120 = 300$

答え 300°

②



②

360°より何度小さいかを調べる。

矢印の部分の角度は 60°

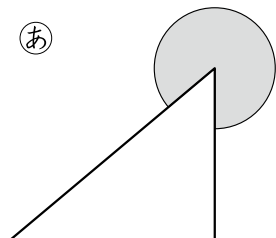
イの角度を計算して求める。

〈式〉  $360 - 60 = 300$

答え 300°

- ② 必要なところの角度をはかり、計算して㉠と㉡の角度を求めましょう。

㉠

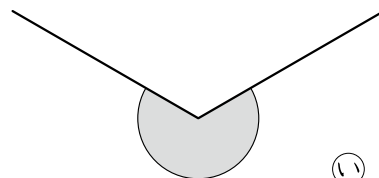


〈式〉  $180^\circ + 130^\circ = 310^\circ$

〈別解〉  $360^\circ - 50^\circ = 310^\circ$

㉠ 310°

㉡



〈式〉  $180^\circ + 60^\circ = 240^\circ$

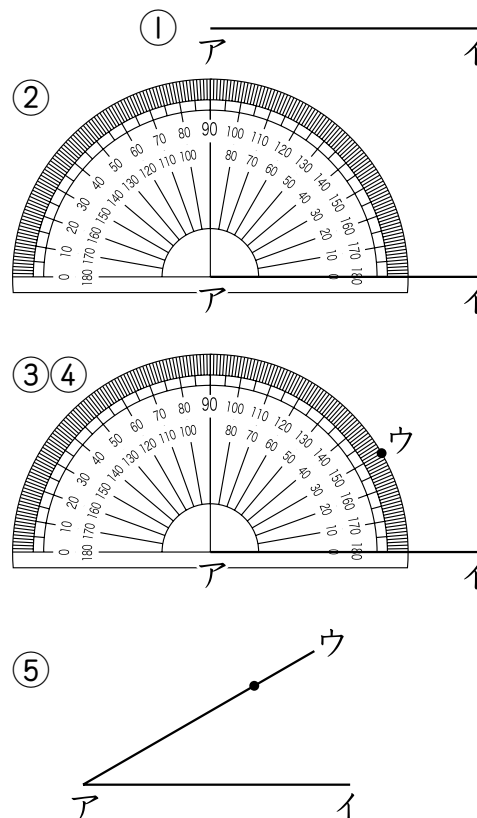
〈別解〉  $360^\circ - 120^\circ = 240^\circ$

㉡ 240°

**ねらい** 分度器を使って、角を作図することができる。

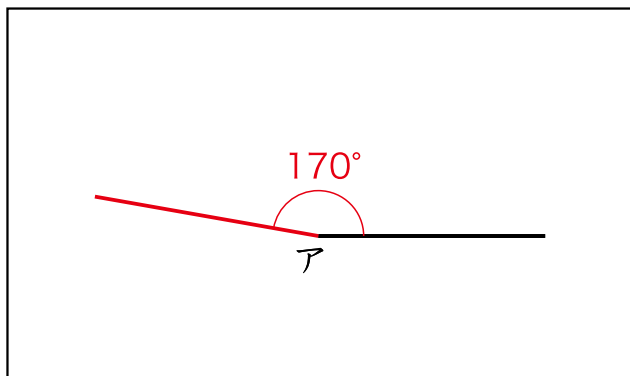
Ⅰ  $30^\circ$  の角のかき方を説明します。□にあてはまる数や単位を、  
( ) にはあてはまる記号や言葉を書きましょう。

- ① 1つの<sup>へん</sup>辺アイをかく。
- ② 分度器の( **中心** )を点アにあわせる。
- ③  $0^\circ$  の線を( **アイ** )にあわせる。
- ④  **$30^\circ$** を表す目もりのところに点ウをうつ。
- ⑤ 点アと点( **ウ** )を通る直線をかく。

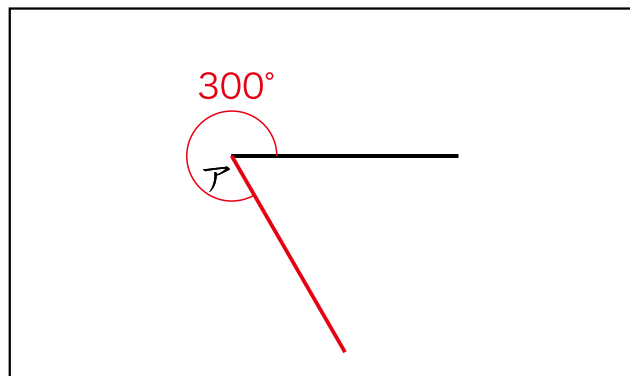


Ⅱ 点アが角の頂点になるように、次の角度をかきましょう。

①  $170^\circ$



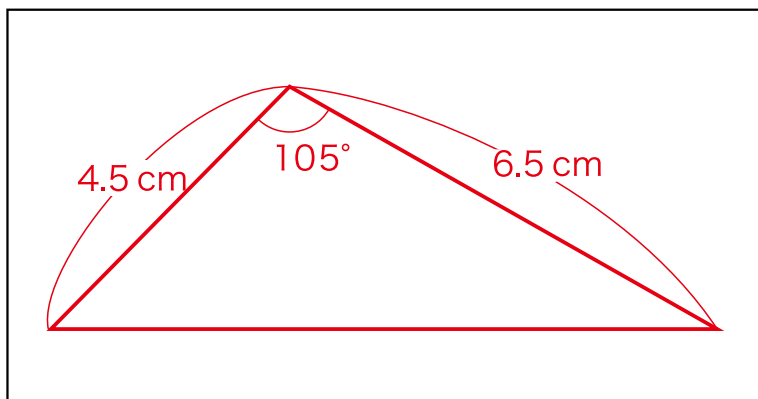
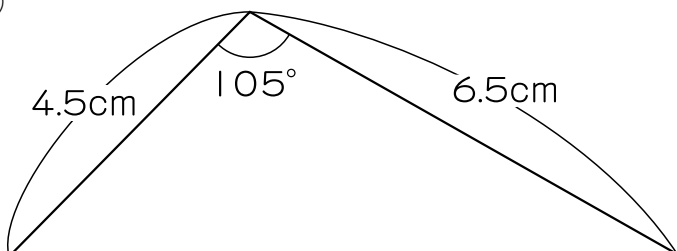
②  $300^\circ$



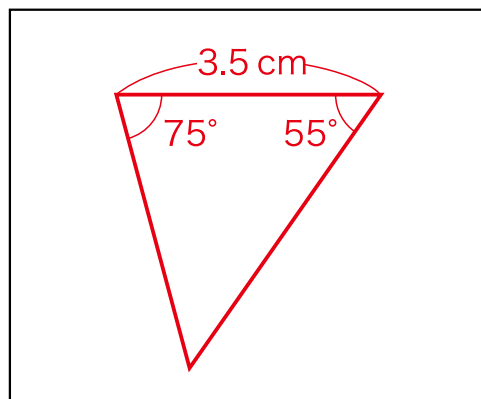
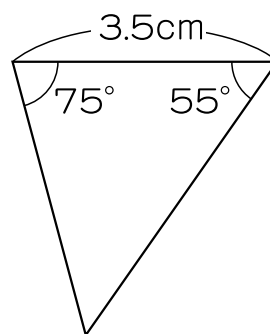
ねらい 分度器を使って、三角形を作図することができる。

Ⅰ 次のような三角形をかきましょう。

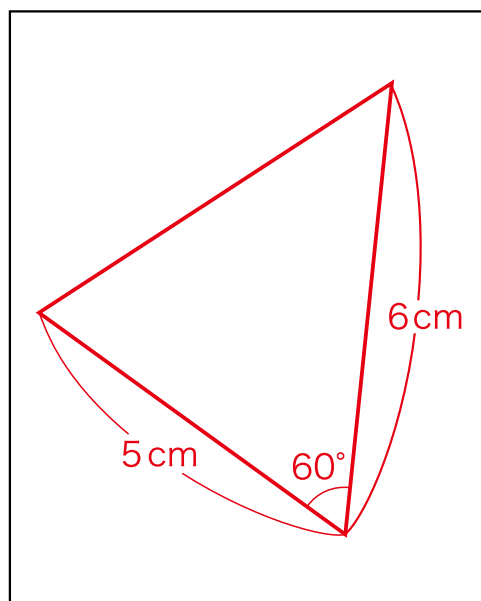
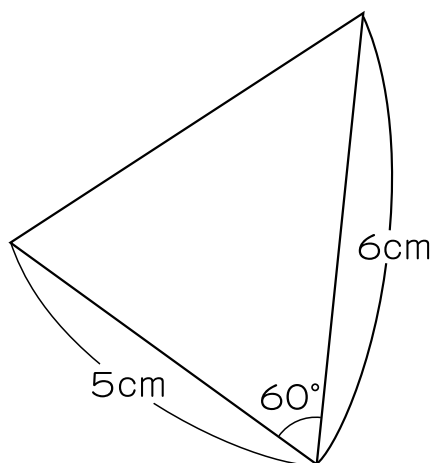
①



②



③



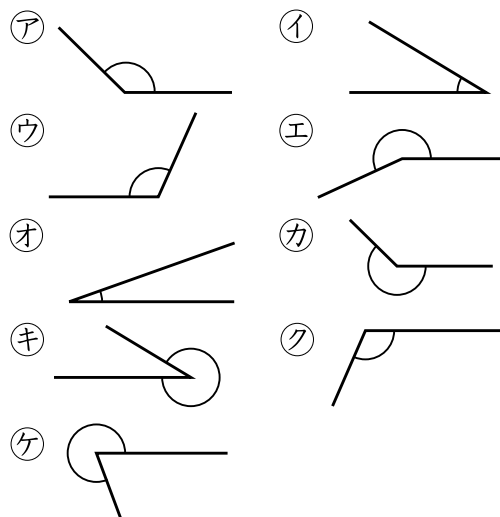


4 角  
(学んだことを使おう) ⑦

名前

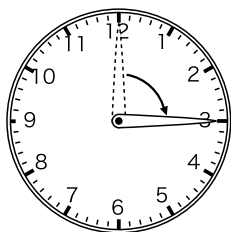
ねらい 身の回りの角の大きさを調べ、角の大きさについての感覚を豊かにする。

- ① 分度器を使わずに、①～④にあてはまる角度をア～ケからえら<sup>えら</sup>び、  
記号で答えましょう。

①  $90^\circ$ より小さい角度 ( イ、オ )②  $90^\circ$ より大きく、  
 $180^\circ$ より小さい角度 ( ア、ウ、ク )③  $180^\circ$ より大きく、  
 $270^\circ$ より小さい角度 ( エ、カ )④  $270^\circ$ より大きく、  
 $360^\circ$ より小さい角度 ( キ、ケ )

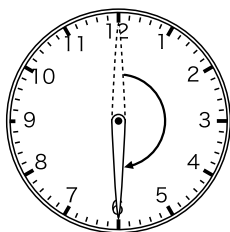
- ② 時計の長いはり<sup>はり</sup>は、次の時間では何度回るでしょうか。  
□に角度を書きましょう。

① 15分



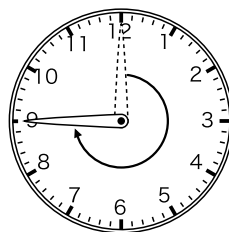
90°

② 30分



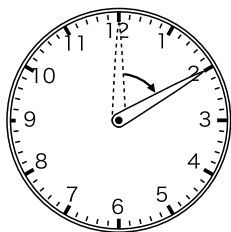
180°

③ 45分



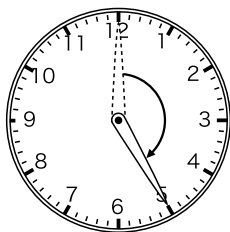
270°

④ 10分



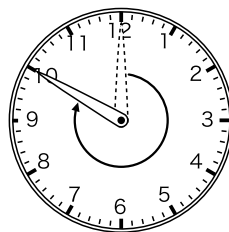
60°

⑤ 25分



150°

⑥ 50分



300°

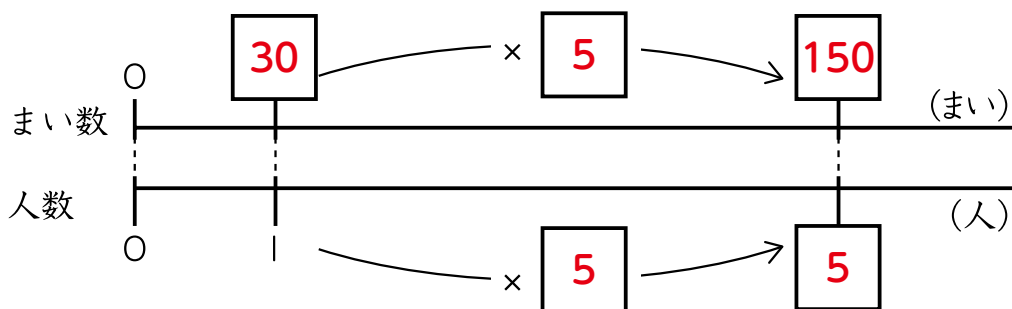
## 5 2けたの数のわり算 ①

名前

ねらい 何十÷何十、何百何十÷何十の除法の計算の仕方を理解する。

- ① 色画用紙が150まいあります。30まいずつ配ると、何人に分けられるでしょうか。

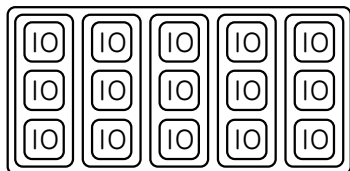
- ① 数直線をかんせいさせましょう。



- ② 式を書きましょう。

〈式〉  $150 \div 30 = 5$

- ③ 図を見ながら、□にあてはまる数を書きましょう。



$$150 \div 30 = \boxed{15} \div \boxed{3} = \boxed{5}$$

150は10をもとにするると  $\boxed{15}$

30は10をもとにするると  $\boxed{3}$  になるから

$150 \div 30$ は  $\boxed{15} \div \boxed{3}$  とみることがができます。

- ② 下の計算を10をもとにして考え、□にあてはまる数を書きましょう。

①  $60 \div 30 = \boxed{2}$   
 $\boxed{6} \div \boxed{3} = \boxed{2}$  等しい

②  $200 \div 50 = \boxed{4}$   
 $\boxed{20} \div \boxed{5} = \boxed{4}$  等しい

③  $720 \div 90 = \boxed{8}$   
 $\boxed{72} \div \boxed{9} = \boxed{8}$  等しい

④  $630 \div 70 = \boxed{9}$   
 $\boxed{63} \div \boxed{7} = \boxed{9}$  等しい

## 5 2けたの数のわり算 ②

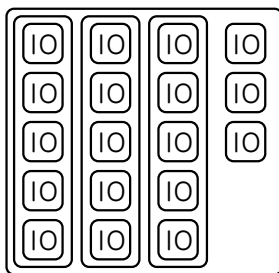
名前

ねらい 何百何十÷何十であまりのある除法の、あまりの大きさについて理解する。

- ① はがきが180まいあります。50まいずつたばにすると、はがきのたばはいくつできて、何まいあまるでしょうか。

〈式〉  $180 \div 50 = 3$  あまり30 答え 3たばできて30まいあまる

- ① 図を見ながら、□にあてはまる数を書きましょう。



180は  $\boxed{10}$  をもとにすると18

50は  $\boxed{10}$  をもとにすると5

になるから

$180 \div 50$ は  $\boxed{18} \div \boxed{5}$  と

みることが出来ます。

$$180 \div 50 = \boxed{3} \text{ あまり } \boxed{30}$$

$$\boxed{18} \div \boxed{5} = \boxed{3} \text{ あまり } \boxed{3}$$

あまりは等しくならない

- ② 答えのたしかめをしましょう。

$$50 \times \boxed{3} + \boxed{30} = \boxed{180}$$

わる数

商

あまり

= わられる数

- ② □にあてはまる数を書きましょう。

①  $250 \div 30 = \boxed{8} \text{ あまり } \boxed{10}$

②  $520 \div 80 = \boxed{6} \text{ あまり } \boxed{40}$

③  $700 \div 90 = \boxed{7} \text{ あまり } \boxed{70}$

## 5 2けたの数のわり算 ③

名前

ねらい

2位数÷2位数の除法の計算の仕方を理解し、筆算の仕方がわかる。

- ① ビー玉が95こあります。1人に31こずつくばると何人に分けられて、何こあまるでしょうか。

( ) にあてはまる式や言葉を、□にはあてはまる数を書きましょう。

① 式を書きましょう。 (  $95 \div 31$  )

② 商は何の<sup>くらい</sup>位からたつでしょうか。 (  $\text{一の位}$  )

③ 商の見当をつけましょう。

$95 \div 31 \rightarrow$  わる数の31を □  $30$  とみます。



$$95 \div \boxed{30} = \boxed{3}$$

- ④ 見当をつけた商をたてて、筆算をしましょう。

			3
3	1	)	95

3を一の位に  
(  $\text{たてる}$  )

			3
3	1	)	95
			93

31に3を  
(  $\text{かける}$  )

			3
3	1	)	95
			93
			3

95から93を  
(  $\text{ひく}$  )

- ② 商の見当をつける式と、見当をつけた商を書きましょう。

①  $49 \div 12$   
(  $49 \div 10 = 4$  )

②  $87 \div 33$   
(  $87 \div 30 = 2$  )

## 5 2けたの数のわり算 ④

名前

ねらい 2位数÷2位数の除法の計算が筆算でできる。

Ⅰ 筆算でしましょう。

①  $44 \div 11$

			4
1	1	4	4
		4	4
			0

②  $64 \div 32$

			2
3	2	6	4
		6	4
			0

③  $36 \div 12$

			3
1	2	3	6
		3	6
			0

④  $37 \div 12$

			3
1	2	3	7
		3	6
			1

⑤  $47 \div 21$

			2
2	1	4	7
		4	2
			5

⑥  $88 \div 42$

			2
4	2	8	8
		8	4
			4

⑦  $73 \div 21$

			3
2	1	7	3
		6	3
		1	0

⑧  $89 \div 34$

			2
3	4	8	9
		6	8
		2	1

⑨  $90 \div 22$

			4
2	2	9	0
		8	8
			2

## 5 2けたの数のわり算 ⑤

名前

ねらい 除数を切り捨てる仮商のを見つけ方と仮商（過大商）の修正の仕方を理解する。

- ①  $71 \div 24$ の計算を筆算でします。□にあてはまる数を、  
( ) にはあてはまる言葉を書きましょう。

- ① 商の見当をつけます。

わる数の24を20とみて、 $71 \div 20 = 3$ とみました。

- ② わる数の24を20とみて、たてた商は、( 大き ) すぎました。

商を 1 小さくする

$\begin{array}{r} 3 \\ 24 \overline{) 71} \\ \underline{72} \end{array}$ <p style="text-align: center;">71から 72はひけない。</p>	$\begin{array}{r} 2 \\ 24 \overline{) 71} \\ \underline{48} \\ 23 \end{array}$
---	--

- ② 次の計算を筆算でします。□にあてはまる数を書きましょう。

商を1小さくする      商を1小さくする

$\begin{array}{r} 8 \\ 14 \overline{) 84} \\ \underline{112} \end{array}$ <p style="text-align: center;">ひけない。</p>	$\begin{array}{r} 7 \\ 14 \overline{) 84} \\ \underline{98} \end{array}$ <p style="text-align: center;">まだひけない。</p>	$\begin{array}{r} 6 \\ 14 \overline{) 84} \\ \underline{84} \\ 0 \end{array}$
--	---	---

- ③ 筆算でしましょう。

- ①  $62 \div 23$

			2
2	3	6	2
		4	6
		1	6

- ②  $94 \div 13$

			7
1	3	9	4
		9	1
			3

## 5 2けたの数のわり算 ⑥

名前

ねらい 除数を切り上げる仮商のを見つけ方と、仮商（過小商）の修正の仕方を理解する。

1 □にあてはまる数を書きましょう。

- ①  $81 \div 16$ の計算をするときは、わる数の16を10とみる場合と、20とみる場合がある。

〈わる数を10とみて筆算する場合〉

$\begin{array}{r} 8 \\ 16 \overline{) 81} \\ \underline{128} \end{array}$	$\xrightarrow{\quad}$	$\begin{array}{r} 7 \\ 16 \overline{) 81} \\ \underline{112} \end{array}$	$\xrightarrow{\quad}$	$\begin{array}{r} 6 \\ 16 \overline{) 81} \\ \underline{96} \end{array}$	$\xrightarrow{\quad}$	$\begin{array}{r} 5 \\ 16 \overline{) 81} \\ \underline{80} \\ 1 \end{array}$
---	-----------------------	---	-----------------------	--	-----------------------	---

ひけないときは商を1つずつ小さくするのです。

〈わる数を20とみて筆算する場合〉

$\begin{array}{r} 4 \\ 16 \overline{) 81} \\ \underline{64} \\ 17 \end{array}$	$\xrightarrow{\text{1大きくする}}$	$\begin{array}{r} 5 \\ 16 \overline{) 81} \\ \underline{80} \\ 1 \end{array}$
--	-------------------------------	---

あまりの17は、  
わる数の16より大きいので、  
まだひける。

わる数の16を  
20とみた方が  
よい。

2 商の見当をつけてから、筆算をしましょう。

①  $96 \div 19$

			5
1	9	9	6
		9	5
			1

②  $69 \div 17$

			4
1	7	6	9
		6	8
			1

③  $94 \div 16$

			5
1	6	9	4
		8	0
		1	4

## 5 2けたの数のわり算 ⑦

名前

ねらい 3位数÷2位数=1位数の除法の計算ができる。

- ①  $431 \div 52$ の計算のしかたを考えます。( ) にあてはまる言葉を、  
□にはあてはまる数を書きましょう。

$$52 \overline{) 431}$$



$$52 \overline{) 431} \quad \boxed{8}$$



$$52 \overline{) 431} \quad \begin{array}{r} 8 \\ \boxed{4} \boxed{1} \boxed{6} \\ \underline{\phantom{00}15} \end{array}$$

- ① 商は何の位<sup>くらい</sup>からたつでしょうか。

( 一の位 )

- ② 商の見当をつけます。

わる数の52を  $\boxed{50}$  とみて、 $431 \div 50$ をします。

- ③  $52 \times 8$ を計算します。

 $431 - 416$ で、あまりを出します。

- ② 商の見当をつけて、筆算をしましょう。

①  $281 \div 31$

				9	
3	1	)	2	8	1
			2	7	9
					2

②  $458 \div 69$

				6	
6	9	)	4	5	8
			4	1	4
				4	4

③  $318 \div 46$

				6	
4	6	)	3	1	8
			2	7	6
				4	2

④  $156 \div 46$

				3	
4	6	)	1	5	6
			1	3	8
				1	8

⑤  $659 \div 72$

				9	
7	2	)	6	5	9
			6	4	8
				1	1



## 5 2けたの数のわり算 ⑧

名前

ねらい 3位数÷2位数=2位数の除法の計算ができる。

- ①  $446 \div 21$  の計算のしかたを考えます。( ) にあてはまる言葉を、  
□にはあてはまる数を書きましょう。

$$\begin{array}{r}
 \boxed{2}\boxed{1} \\
 21 \overline{) 446} \\
 \underline{42} \phantom{0} \\
 26 \\
 \underline{21} \\
 5
 \end{array}$$

① 商は( **+** ) の位にたちます。

② 十の位の計算をする。

$$44 \div 21 = \boxed{2} \text{ あまり } 2$$

③ 6をおろし、一の位の計算をする。

$$26 \div 21 = \boxed{1} \text{ あまり } 5$$

- ② 筆算でしましょう。

①  $885 \div 65$ 

			1	3
6	5	8	8	5
		6	5	
		2	3	5
		1	9	5
			4	0

②  $972 \div 31$ 

			3	1
3	1	9	7	2
		9	3	
			4	2
			3	1
			1	1

③  $589 \div 25$ 

			2	3
2	5	5	8	9
		5	0	
			8	9
			7	5
			1	4

## 5 2けたの数のわり算 ⑨

名前

ねらい 4位数÷2位数の除法の計算ができる。

Ⅰ 筆算でしましょう。

①  $2652 \div 63$

				4	2	
6	3	)	2	6	5	2
			2	5	2	
				1	3	2
				1	2	6
						6

②  $3574 \div 43$

				8	3	
4	3	)	3	5	7	4
			3	4	4	
				1	3	4
				1	2	9
						5

③  $2998 \div 27$

			1	1	1	
2	7	)	2	9	9	8
			2	7		
			2	9		
			2	7		
				2	8	
				2	7	
					1	

④  $1926 \div 32$

				6	0	
3	2	)	1	9	2	6
			1	9	2	
						6

⑤  $2314 \div 22$

			1	0	5	
2	2	)	2	3	1	4
			2	2		
			1	1	4	
			1	1	0	
					4	

⑥  $3459 \div 17$

			2	0	3	
1	7	)	3	4	5	9
			3	4		
					5	9
					5	1
						8

## 5 2けたの数のわり算 ⑩

名前

**ねらい** 被除数と除数に同じ数をかけても、同じ数でわっても、商は変わらないことを理解する。

① わり算のきまりを使って、商が5になる場合になる式を考えましょう。

$$\textcircled{1} \quad 5 \div 1 = 5$$

$$\downarrow \times 2 \quad \downarrow \times 2$$

$$\boxed{10} \div \boxed{2} = 5$$

$$\downarrow \times 3 \quad \downarrow \times 3$$

$$\boxed{30} \div \boxed{6} = 5$$

$$\textcircled{2} \quad 50 \div 10 = 5$$

$$\downarrow \div 2 \quad \downarrow \div 2$$

$$\boxed{25} \div \boxed{5} = 5$$

$$\downarrow \div 5 \quad \downarrow \div 5$$

$$\boxed{5} \div \boxed{1} = 5$$

② □にあてはまる数を書きましょう。

$$\textcircled{1} \quad 400 \div 200 = 4 \div \boxed{2}$$

$$= \boxed{2}$$

$$\textcircled{2} \quad 120 \div 12 = 10 \div \boxed{1}$$

$$= \boxed{10}$$

$$\textcircled{3} \quad 250 \div 50 = \boxed{5} \div 1$$

$$= \boxed{5}$$

$$\textcircled{4} \quad 250 \div 25 = \boxed{1000} \div 100$$

$$= \boxed{10}$$

$$\textcircled{5} \quad 900 \div 50 = 1800 \div \boxed{100}$$

$$= \boxed{18}$$

$$\textcircled{6} \quad 8000 \div 200 = 80 \div \boxed{2}$$

$$= \boxed{40}$$

## 5 2けたの数のわり算 ⑪

名前

**ねらい** 末位に0がある除法の計算の仕方を理解する。①  $2500 \div 600$ を、わり算のきまりを使って計算しています。

□の中に数を書きましょう。

$$\begin{array}{r}
 \boxed{4} \\
 6 \cancel{0} \cancel{0} \overline{) 25 \cancel{0} \cancel{0}} \\
 \underline{24} \phantom{00} \\
 1 \phantom{00}
 \end{array}$$

① わられる数とわる数の0を  $\boxed{2}$  こずつ  
消して筆算します。② 商は  $\boxed{4}$  になります。③ あまりは0を2こ消したので、その分だけ  
0をつけたして、 $\boxed{100}$  になります。④  $2500 \div 600 = \boxed{4}$  あまり  $\boxed{100}$  です。

② わり算のきまりを使って、くふうして計算しましょう。

$$\begin{aligned}
 \text{① } 1800 \div 300 &= 18 \div 3 \\
 &= 6
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 \text{② } 2400 \div 800 &= 24 \div 8 \\
 &= 3
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 \text{③ } 16000 \div 8000 &= 16 \div 8 \\
 &= 2
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 \text{④ } 4700 \div 600 &= 47 \div 6 \\
 &= 7 \text{あまり} 500
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 \text{⑤ } 15 \text{万} \div 3 \text{万} &= 15 \div 3 \\
 &= 5
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 \text{⑥ } 36 \overset{\text{おく}}{\text{億}} \div 6 \text{億} &= 36 \div 6 \\
 &= 6
 \end{aligned}$$

**ねらい** 概数の意味、概数を用いる目的やよさを理解する。

① ( ) の中にあてはまる言葉を書きましょう。

・ およその数のことを ( **がい数** ) といいます。

・ およそ49000のことを ( **約** ) 49000といいます。

② 下のアからカの中から、がい数が使われているものをすべて<sup>えら</sup>選び、記号を○でかこみましょう。

ア 算数のテストの点数 95点

イ 東京都の人口 1300万人

ウ 茶わん1ぱい分のごはんつぶの数 3000つぶ

エ アイスクリーム1このねだん 280円

オ <sup>ぬまち</sup>沼地に<sup>と</sup>飛んできた<sup>わ</sup>わたり鳥の数 1万羽

③ 学校にあるものや身の<sup>まわ</sup>回りのもので、がい数で表されているものをさがしてみましょう。

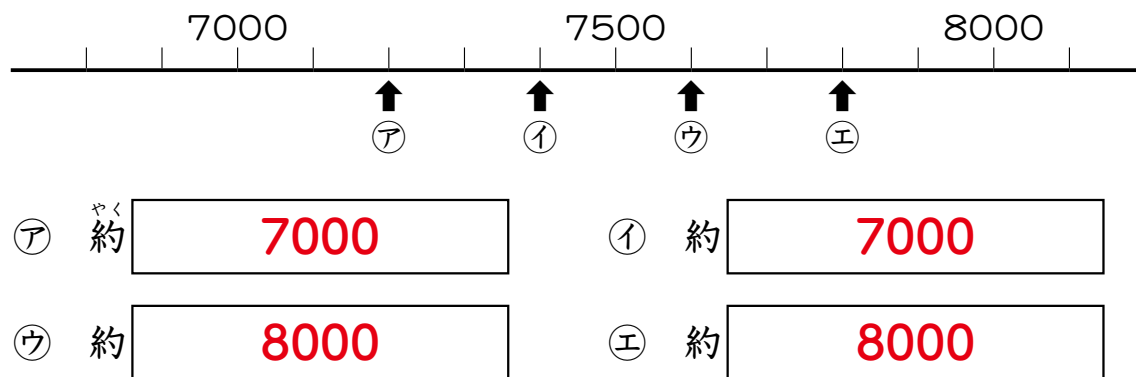
- ① ( **〈例〉 学校図書館にある本の冊数  
約5000冊** )
- ② ( **〈例〉 野球の今日の入場者数  
約3万5千人** )

ねらい

四捨五入の意味を理解して、「○の位までの概数にする」ことができる。

① 次の㊦～㊨の数は、それぞれ何千といえるでしょうか。

□の中に数字を書きましょう。



② 次の数は、約何千といえるでしょうか。

① 4631

( 約 5千 )

② 8098

( 約 8千 )

百の位を  
四捨五入します。③ <sup>ししゃごにゅう</sup>四捨五入して、( )の中の位までの<sup>くらい</sup>がいで表しましょう。

- ① 275864 (一万の位) → ( 約280000 )
- ② 6253 (百の位) → ( 約6300 )
- ③ 8426 (千の位) → ( 約8000 )
- ④ 579199832 (一億<sup>おく</sup>の位) → ( 約600000000 )
- ⑤ 2432999311 (十億の位) → ( 約2000000000 )

**ねらい** 四捨五入して「上から○桁の概数にする」ことができる。

- ① 次の数を<sup>ししやごにゆう</sup>四捨五入して、「上から2けたのがい数」で表しましょう。  
 (    ) の中にあてはまる言葉を、□にはあてはまる数を書きましょう。

① 3485

② 62497

上から2けたのがい数で表すときは、

 上から 3 けたの<sup>くらい</sup>位の数を ( **四捨五入** ) します。

 ① 3485

 ② 62497

↓ 四捨五入する

↓ 四捨五入する

3500
62000

- ② 次の数を四捨五入して、「上から2けたのがい数」で表しましょう。  
 また、「上から1けたのがい数」で表しましょう。

(上から2けたのがい数)



(上から1けたのがい数)



① 537400

540000
500000

② 8639

8600
9000

③ 29132

29000
30000

④ 6067842

6100000
6000000



四捨五入して概数にしたときの、もとの数の範囲について理解する。また、「以上」「以下」「未満」の用語を理解する。

① 数のはんいを表す言葉には、次のようなものがあります。

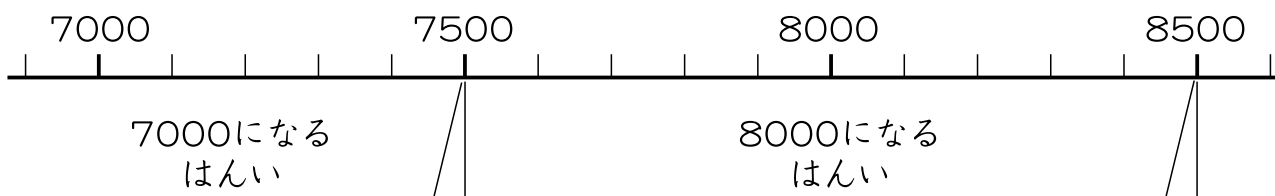
( ) の中にあてはまる言葉を書きましょう。

① 8000<sup>いじょう</sup>以上とは、8000と( **等しい** ) か、それよりも( **大きい** ) ことを表します。

② 8000<sup>いか</sup>以下とは、8000と( **等しい** ) か、それよりも( **小さい** ) ことを表します。

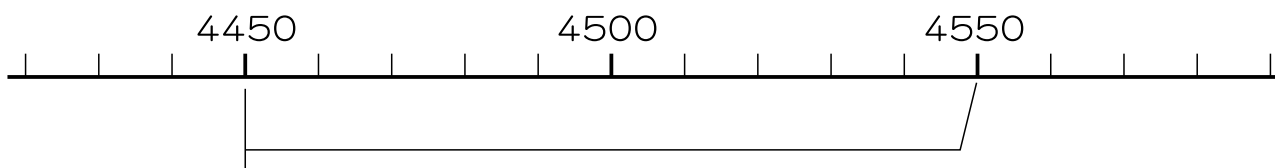
③ 8000<sup>みまん</sup>未満とは、8000よりも( **小さい** ) ことを表し、8000は( **入りません** ) 。

② <sup>ししゃごにゆう</sup>四捨五入して千の位<sup>くらい</sup>までのがい数にしたとき、8000になる数は、いくつからいくつのはんいでしょうか。



( **7500** 以上 **8500** 未満 )

③ <sup>ししゃごにゆう</sup>四捨五入して百の位<sup>くらい</sup>までのがい数にしたとき、4500になるはんいを、以上、未満を使って表しましょう。



( **4450** 以上 **4550** 未満 )



**ねらい** 和や差を概数で見積りすることができる。

- Ⅰ <sup>やおや</sup>八百屋へ行くと、次のものが売られています。

トマト 297円

大根 228円

きゅうり 188円

みかん 489円

いちご 395円

ぶどう 587円

- ① それぞれの品物を百の位<sup>くらい</sup>までのがい数で表しましょう。

トマト ( 約300円 )      大根 ( 約200円 )

きゅうり ( 約200円 )      みかん ( 約500円 )

いちご ( 約400円 )      ぶどう ( 約600円 )

- ② 上の品物の中から2つ<sup>えら</sup>選んで、代金の合計が約800円<sup>やく</sup>になるようにするには、何と何を買えばよいでしょうか。

〈式〉 大根とぶどう      トマトとみかん      きゅうりとぶどう  
 $200+600=800$        $300+500=800$        $200+600=800$

答え ( 大根とぶどう   トマトとみかん   きゅうりとぶどう )

- ③ トマト、みかん、きゅうりのほかに、あと1つ何かを買って、代金の合計が約1400円になるようにするには何を買えばよいでしょうか。

答え ( いちご )

- Ⅱ 下の計算で、答えが約500になるものの記号を選びましょう。

⑥  $242+116+239$

$200+100+200=500$

⑩  $375-173+418$

$400-200+400=600$

⑨  $95+(627-286)$

$100+(600-300)$

$100+300=400$

答え ( ⑥ )

ねらい 積や商を概数で見積もることができる。

- ① 1箱<sup>はこ</sup>203円のチョコレートを19箱買います。  
代金の合計は何円くらいになるか、見当をつけましょう。

〈式〉  $200 \times 20 = 4000$

答え 約4000円

- ② おかし屋で次のおかしを売っています。同じ種類<sup>しゅるい</sup>のおかしを39個買って、  
代金の合計が約3500円になるようにおかしを買います。  
どのおかしを選んだらよいでしょうか。



キャンディ  
68円



キャラメル  
88円



グミ  
78円



せんべい  
126円



チョコレート  
187円

〈式〉  
 キャンディ  $70 \times 40 = 2800$   
 キャラメル  $90 \times 40 = 3600$   
 グミ  $80 \times 40 = 3200$   
 せんべい  $130 \times 40 = 5200$   
 チョコレート  $190 \times 40 = 7600$

答え キャラメル

- ③ 次の計算で、積<sup>せき</sup>が2000より大きくなるものを選び、その記号を書きましょう。

㉞  $42 \times 53 \Rightarrow 40 \times 50 = 2000$     ㉝  $25 \times 75 \Rightarrow 25 \times 80 = 2000$

㉟  $39 \times 48 \Rightarrow 40 \times 50 = 2000$     ㉜  $81 \times 26 \Rightarrow 80 \times 30 = 2400$

答え ㉞ ㉜

- ④ 次の計算で、商が約70になるものを選び、その記号を書きましょう。

㉞  $14480 \div 23 \Rightarrow 1500 \div 20 = 700$     ㉝  $2394 \div 59 \Rightarrow 2400 \div 60 = 40$

㉟  $2785 \div 38 \Rightarrow 2800 \div 40 = 70$     ㉜  $2148 \div 32 \Rightarrow 2100 \div 30 = 70$

答え ㉟ ㉜

## 6 がい数 ⑦

名前

ねらい 切り上げ、切り捨ての意味を理解し、目的に応じて用いることができる。

I おかし屋で、次のおかしを売っています。

アーモンドチョコ  
287円クッキー  
372円キャンディ  
128円せんべい  
213円グミ  
118円ミニバウムクーヘン  
274円イチゴパイ  
265円オレンジケーキ  
324円

- ① のぶおさんは、アーモンドチョコとクッキー缶とイチゴパイをそれぞれ1個ずつ買いたと思っています。1000円で足りるでしょうか。  
□の中にあてはまる数を、( )の中にはあてはまる言葉を書きましょう。

・アーモンドチョコ 約 **290** 円・クッキー缶 約 **380** 円・イチゴパイ 約 **270** 円

多めに考えて  
一の位を切り上げて  
考えるといいね

だから、1000円で( **足りる** )

$$\boxed{290} + \boxed{380} + \boxed{270} = \boxed{940}$$

- ② みえ子さんは、600円以上の買い物をするといじょう福引き券を1まいもらえます。オレンジケーキとせんべいとグミをそれぞれ1こずつ買いました。福引き券は1まいもらえるでしょうか。  
□の中にあてはまる数を、( )の中にはあてはまる言葉を書きましょう。

・オレンジケーキ 約 **320** 円・せんべい 約 **210** 円・グミ 約 **110** 円

少なめに考えて  
一の位を切り捨てをして  
考えるといいね

代金は約 **640** 円になるので、福引き券は( **もらえる** )

6 **がい数**  
(学んだことを使おう) ⑧名  
前**ねらい** 目的に合った概数の表し方や使い方を考えることができる。

- ① 下の表は、ある学級で4月から12月までのペットボトルのキャップを回収した数を調べたものです。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
キャップの数(こ)	187	218	247	229	334	172	236	163	

まもるさんは、上の表の4月と5月のペットボトルのキャップの数をがい数に表して、右のぼうグラフに表しました。

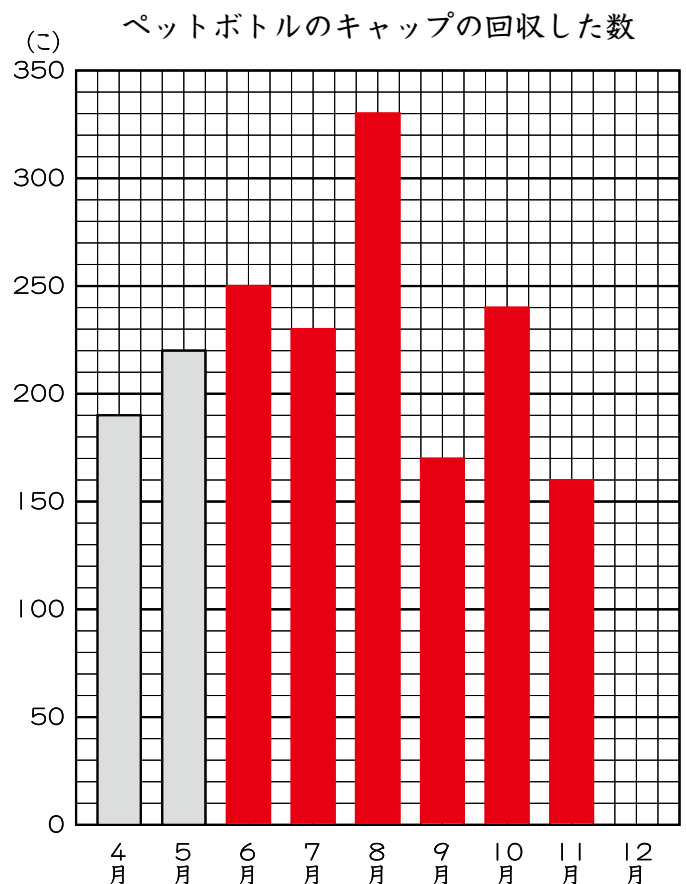
- ① まもるさんは、4月と5月の数を四捨五入して、何の位までのがい数に表したと考えられるでしょう。

( **十の位までのがい数** )

- ② 6月から11月までの数を、ぼうグラフに表しましょう。
- ③ 4月から12月までに回収する目標は2000こです。

この目標を達成するために、12月は約何このペットボトルのキャップを回収する必要があるでしょう。

4月から11月までの数をがい数で表して考えましょう。



**4月から11月までのキャップの数 約1790こ**  
 **$2000 - 1790 = 210$**

答え (約 **210こ**)

★ 算数ワールド  
こわれた電たく

名前

**ねらい** 乗法に関して成り立つ性質について理解を深める。

① ⑥のキーだけがこわれて使えない電たくがあります。

① この電たくで $15 \times 26$ の答えを<sup>もと</sup>求めています。

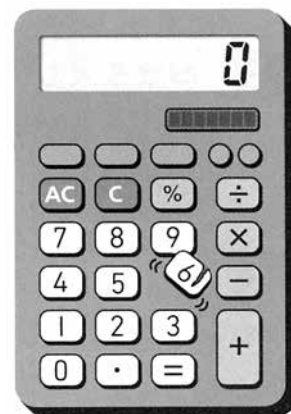
□にあてはまる数を書きましょう。

ア  $15 \times 25$ の計算をして考える。

$$15 \times 25 = \boxed{375}$$

↓  $\boxed{15}$ をたす。

$$15 \times 26 = \boxed{390}$$



① 26を12と14に分けて考える。

$$15 \times 26 \begin{cases} 15 \times 12 = \boxed{180} \\ 15 \times 14 = \boxed{210} \end{cases} \text{たして} \boxed{390}$$

② ⑧のキーだけがこわれて使えない電たくがあります。この電たくで<sup>せつめい</sup> $18 \times 45$ の答えの求め方を説明しましょう。

(例)

① 18を他の数の和と見た場合 (例： $17 + 1$ )

$$17 \times 45 = 765 \qquad 765 + 45 = 810$$

② 18を他の数の差と見た場合 (例： $19 - 1$ )

$$19 \times 45 = 855 \qquad 855 - 45 = 810$$

③ 18を他の数の積と見た場合 (例： $9 \times 2$ や $3 \times 6$ )

$$9 \times 2 \times 45 = 810 \qquad 3 \times 6 \times 45 = 810$$

④ 18を他の数の商と見た場合 (例： $36 \div 2$ )

$$36 \div 2 \times 45 = 810$$